

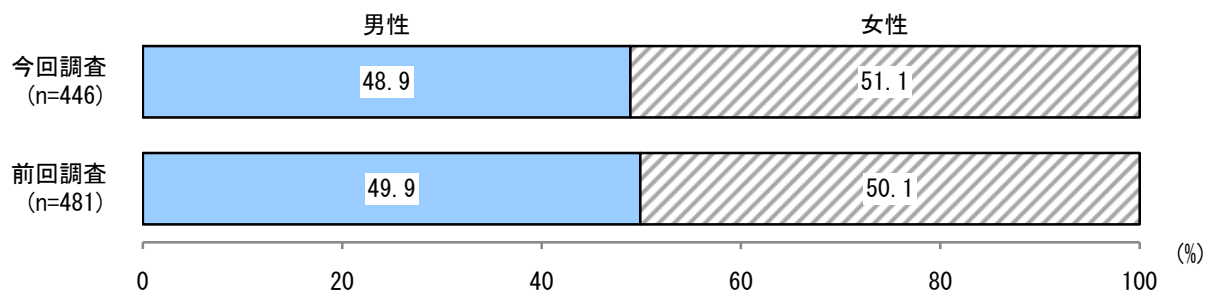
Ⅱ-2 児童・生徒期（8歳）

1 調査対象児について

（1）性別

I-1. お子さんの性別を教えてください。

子どもの性別は、「男性」が48.9%、「女性」が51.1%となっています。

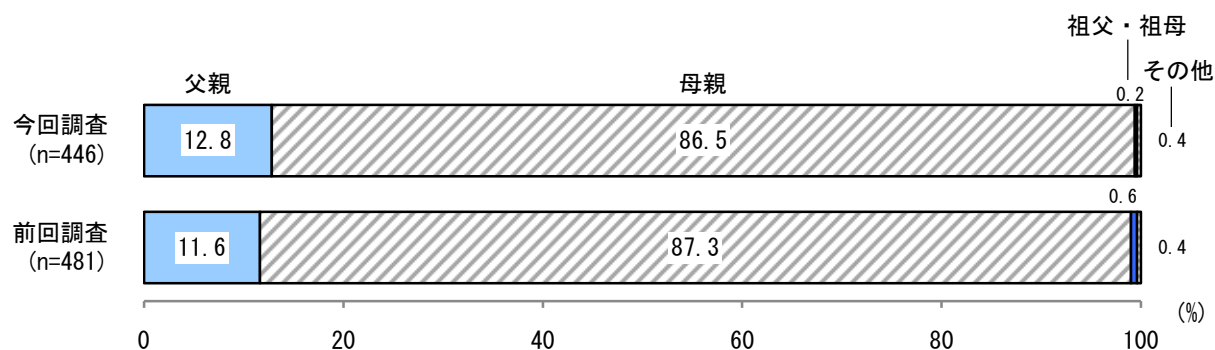


（2）アンケート回答者

I-2. このアンケートを記入された方は、お子さんからみてどなたですか。

アンケートの回答者は、「母親」が86.5%で最も多く、次いで「父親」が12.8%、「祖父・祖母」が0.2%となっています。

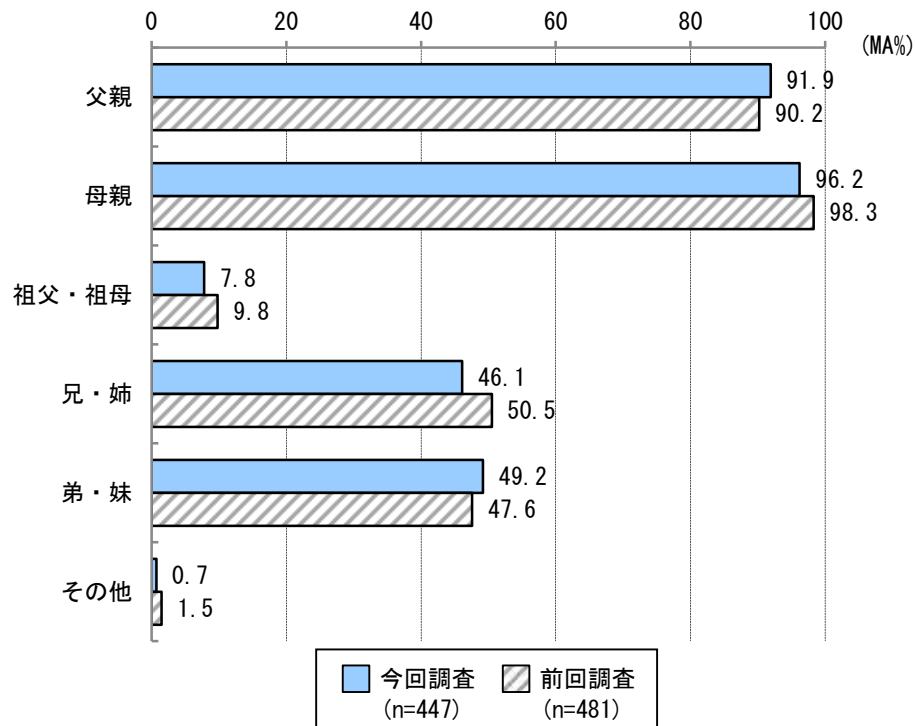
前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。



(3) 同居家族

I-3. 現在お子さんは、お子さんからみてどなたとお住まいになっていますか。
 <複数回答>

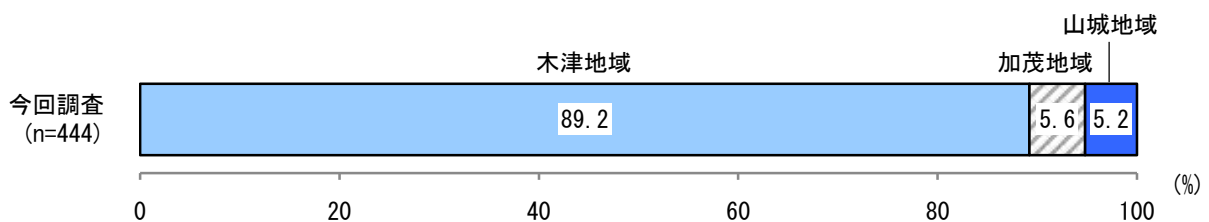
同居家族については、「母親」が96.2%で最も多く、次いで「父親」が91.9%、「弟・妹」が49.2%、「兄・姉」が46.1%となっています。



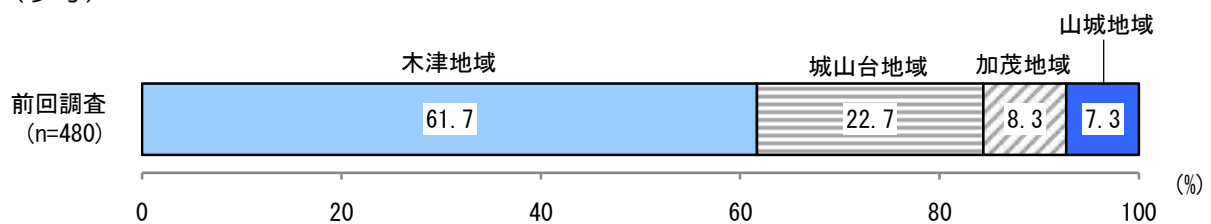
(4) 居住地域

I-4. 現在お住まいの地域はどこですか。

居住地域については、「木津地域」が89.2%で最も多く、次いで「加茂地域」が5.6%、「山城地域」が5.2%となっています。



(参考)



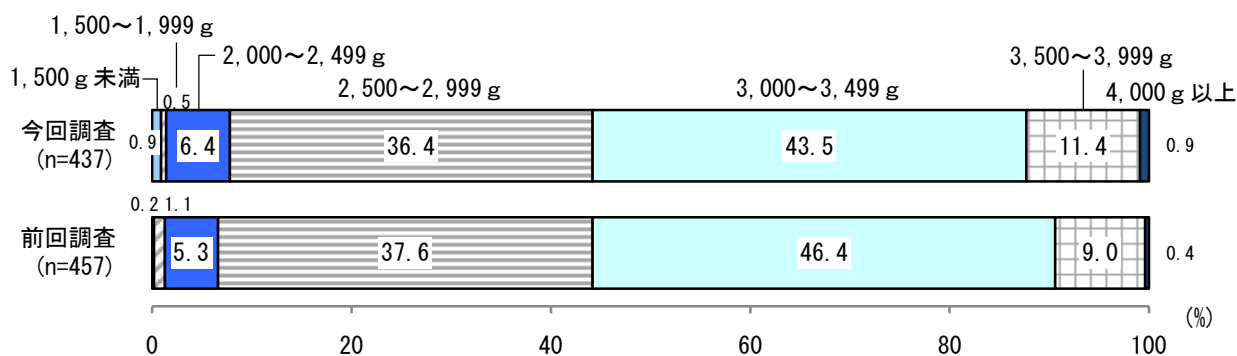
※今回調査では、「木津地域」と「城山台地域」を合わせて「木津地域」としています。

（５）出生時体重

I-5. お子さんの出生時の体重を教えてください。

出生時体重については、「3,000～3,499g」が43.5%で最も多く、次いで「2,500～2,999g」が36.4%、「3,500～3,999g」が11.4%となっています。

前回調査と比較すると、低出生体重児（2,500g未満）の割合が7.8%で、前回（6.6%）より1.2ポイント高くなっています。

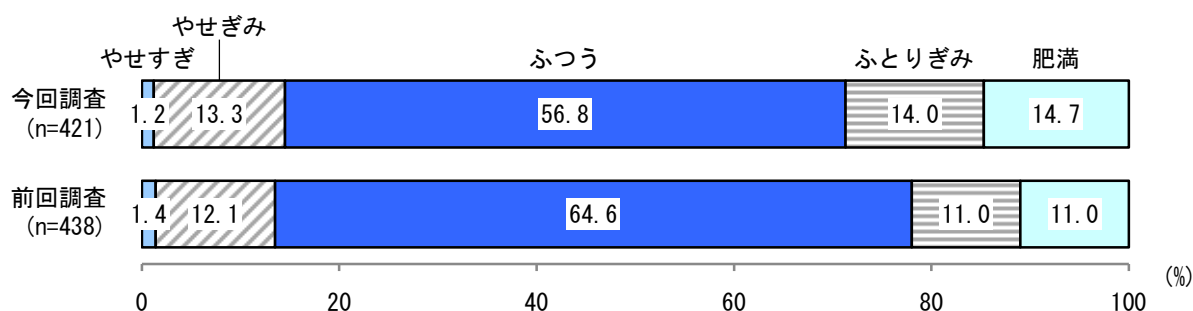


（６）肥満度

I-6. お子さんの最近測定された身長・体重を教えてください。

回答された子どもの身長・体重から算出した肥満度をみると、「ふつう」が56.8%で最も多く、次いで「肥満」が14.7%、「ふとりぎみ」が14.0%となっています。

前回調査と比較すると、「ふつう」の割合が前回（64.6%）より7.8ポイント低く、「肥満」が前回（11.0%）より3.7ポイント、「ふとりぎみ」が前回（11.0%）より3.0ポイント、それぞれ高くなっています。



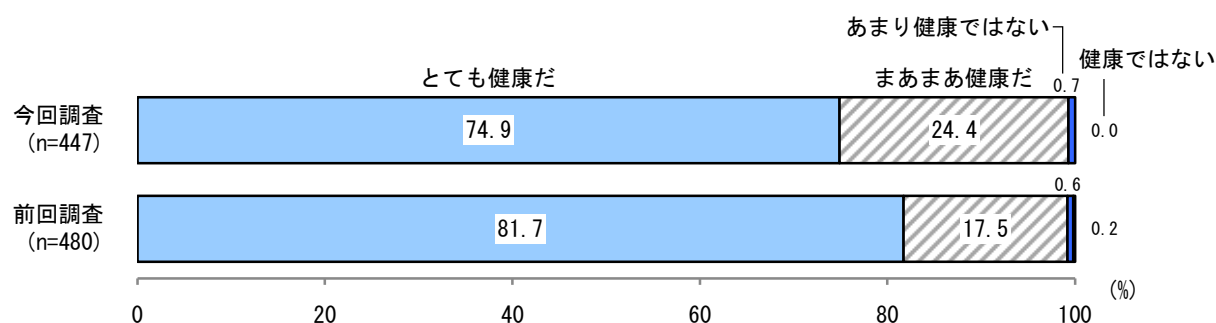
2 健康に関することについて

(1) 健康状態

Ⅱ-1. お子さんの現在の健康状態について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

健康状態については、「とても健康だ」が74.9%で最も多く、次いで「まあまあ健康だ」が24.4%となっており、両者をあわせた『健康だ』の割合は99.3%となっています。

前回調査と比較すると、「とても健康だ」の割合が前回（81.7%）より6.8ポイント低くなっています。

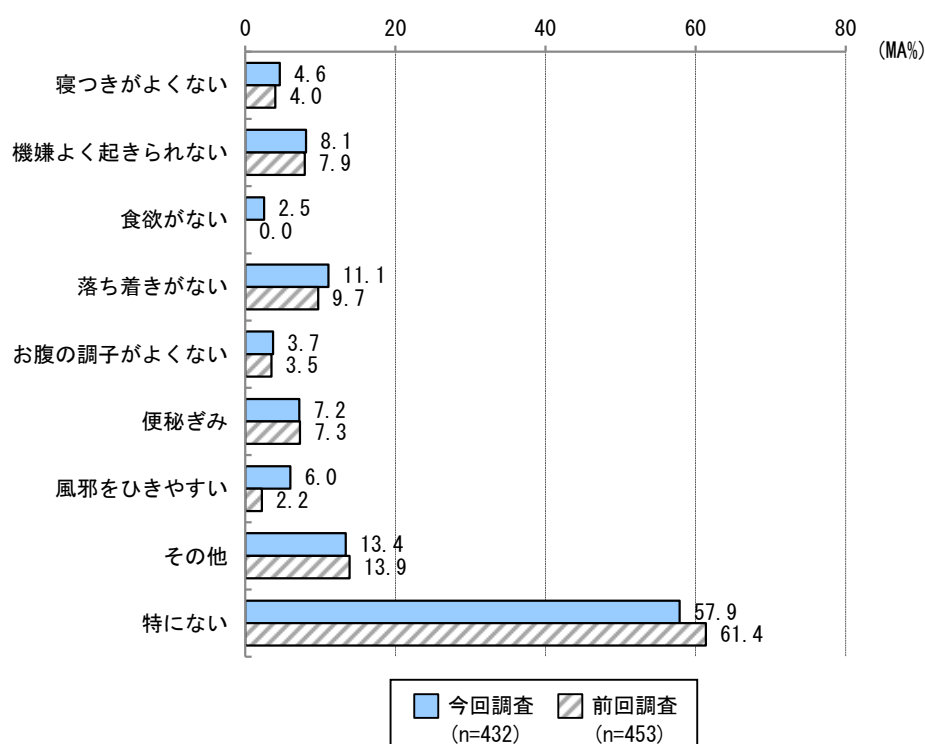


(2) 健康面で気になること

Ⅱ-2. お子さんの「健康」で気になることはどのようなことですか。＜複数回答＞

健康で気になることについては、「落ち着きがない」が11.1%で最も多く、次いで「機嫌よく起きられない」が8.1%、「便秘ぎみ」が7.2%となっています。一方、「特にない」は57.9%となっています。

前回調査と比較すると、「風邪をひきやすい」の割合が前回（2.2%）より3.8ポイント、「落ち着きがない」の割合が前回（9.7%）より1.4ポイント高くなっています。



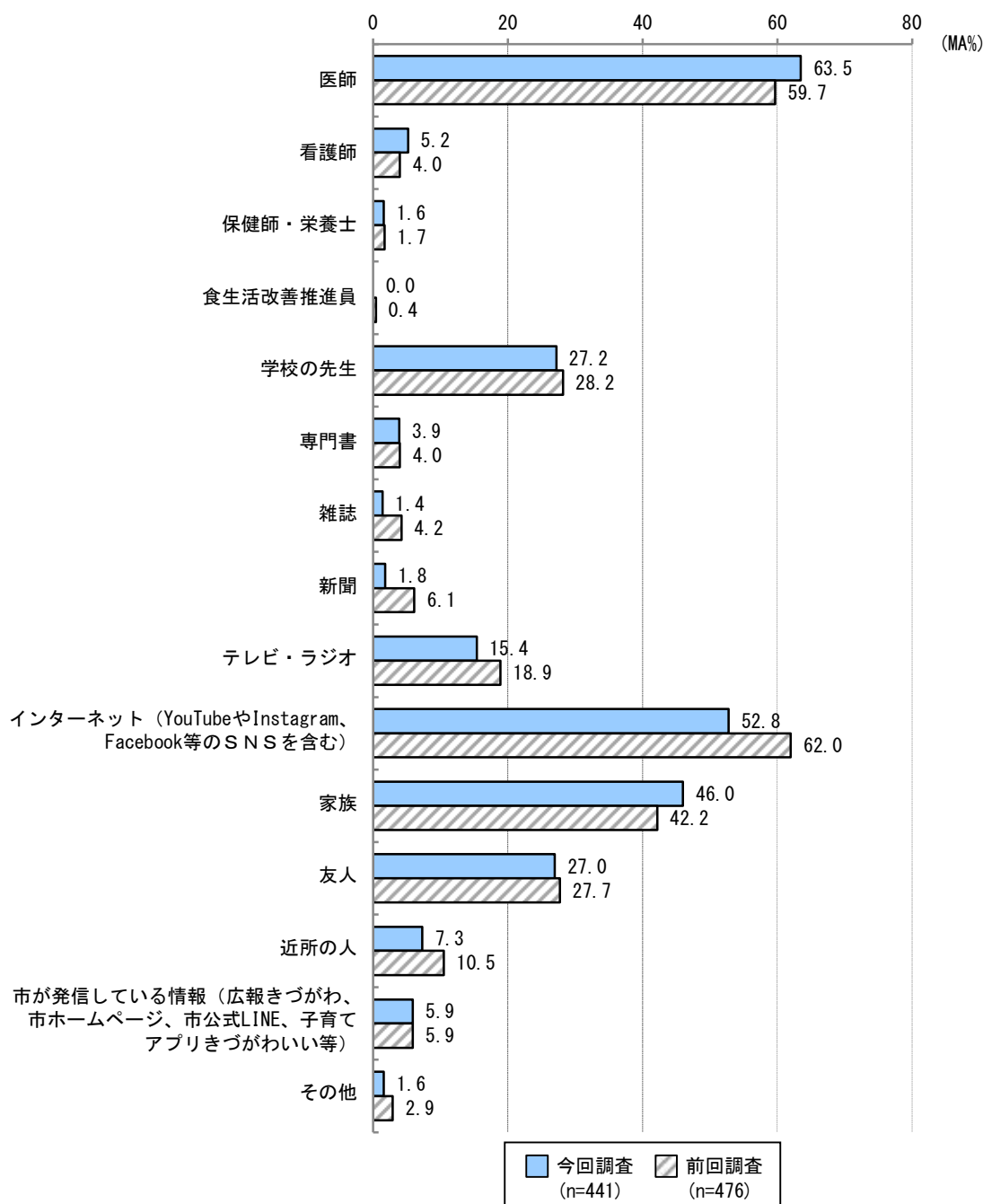
（３）健康に関する情報の入手先

Ⅱ-3. あなたは、お子さんの健康についての情報を主にどこから得ていますか。

<複数回答>

子どもの健康に関する情報の入手先については、「医師」が63.5%で最も多く、次いで「インターネット（YouTubeやInstagram、Facebook等のSNSを含む）」が52.8%、「家族」が46.0%となっています。

前回調査と比較すると、「インターネット（YouTubeやInstagram、Facebook等のSNSを含む）」の割合が前回（62.0%）より9.2ポイント低くなっています。



※前回調査の「インターネット（パソコン・スマートフォンなど）」は、今回調査では「インターネット（YouTubeやInstagram、Facebook等のSNSを含む）」に変更しています。

※前回調査の「広報きづがわ」は、今回調査では「市が発信している情報（広報きづがわ、市ホームページ、市公式LINE、子育てアプリきづがわいい等）」に変更しています。

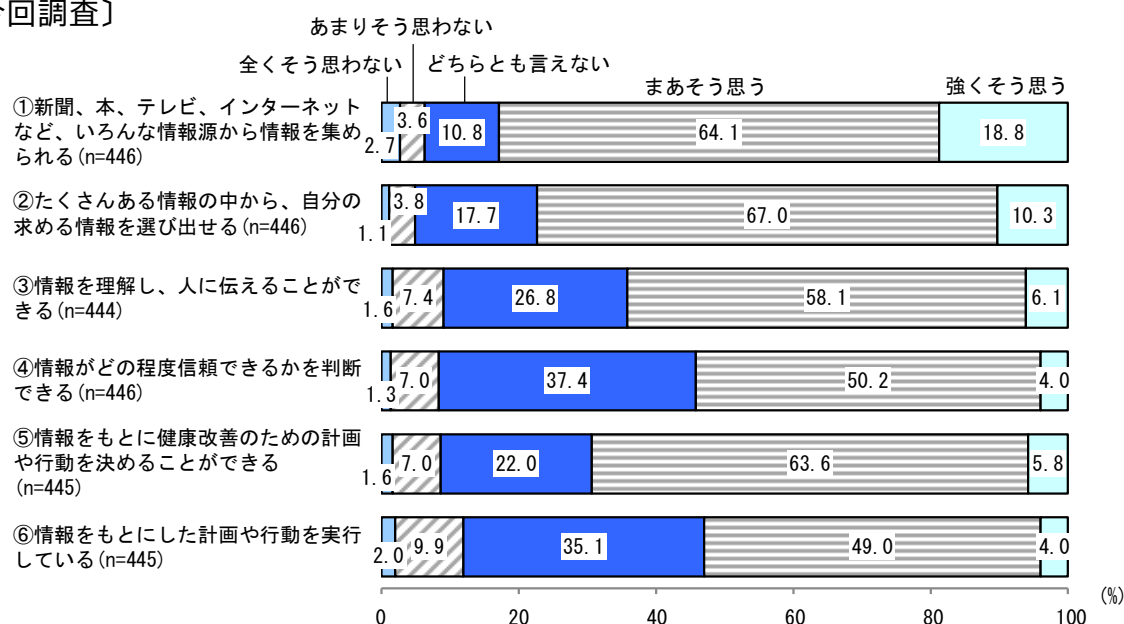
(4) 健康に関する情報の入手・活用状況

Ⅱ-4. お子さんの健康に関する情報や、あなたご自身の行動についてお聞きます。

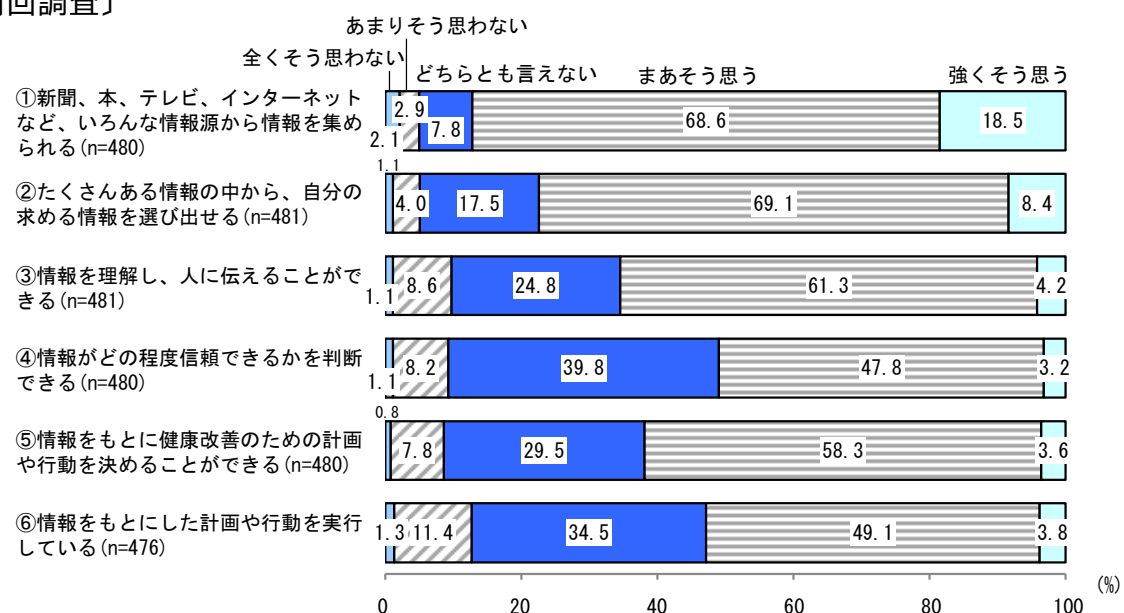
健康に関する情報の入手・活用状況についてたずねたところ、「強くそう思う」と「まあそう思う」をあわせた肯定的意見は、“①新聞、本、テレビ、インターネットなど、いろんな情報源から情報を集められる”が82.9%で最も高く、次いで“②たくさんある情報の中から、自分の求める情報を選び出せる”が77.3%、“⑤情報をもとに健康改善のための計画や行動を決めることができる”が69.4%となっています。

健康に関する情報の入手、理解、評価、活用するための能力である“ヘルス・リテラシー”について、①～⑥の各項目の回答を点数化したものから算出したところ、合計点（30点満点）の全体平均は21.9点となっており、前回（21.8点）と比較しても、同様の傾向となっています。

〔今回調査〕



〔前回調査〕



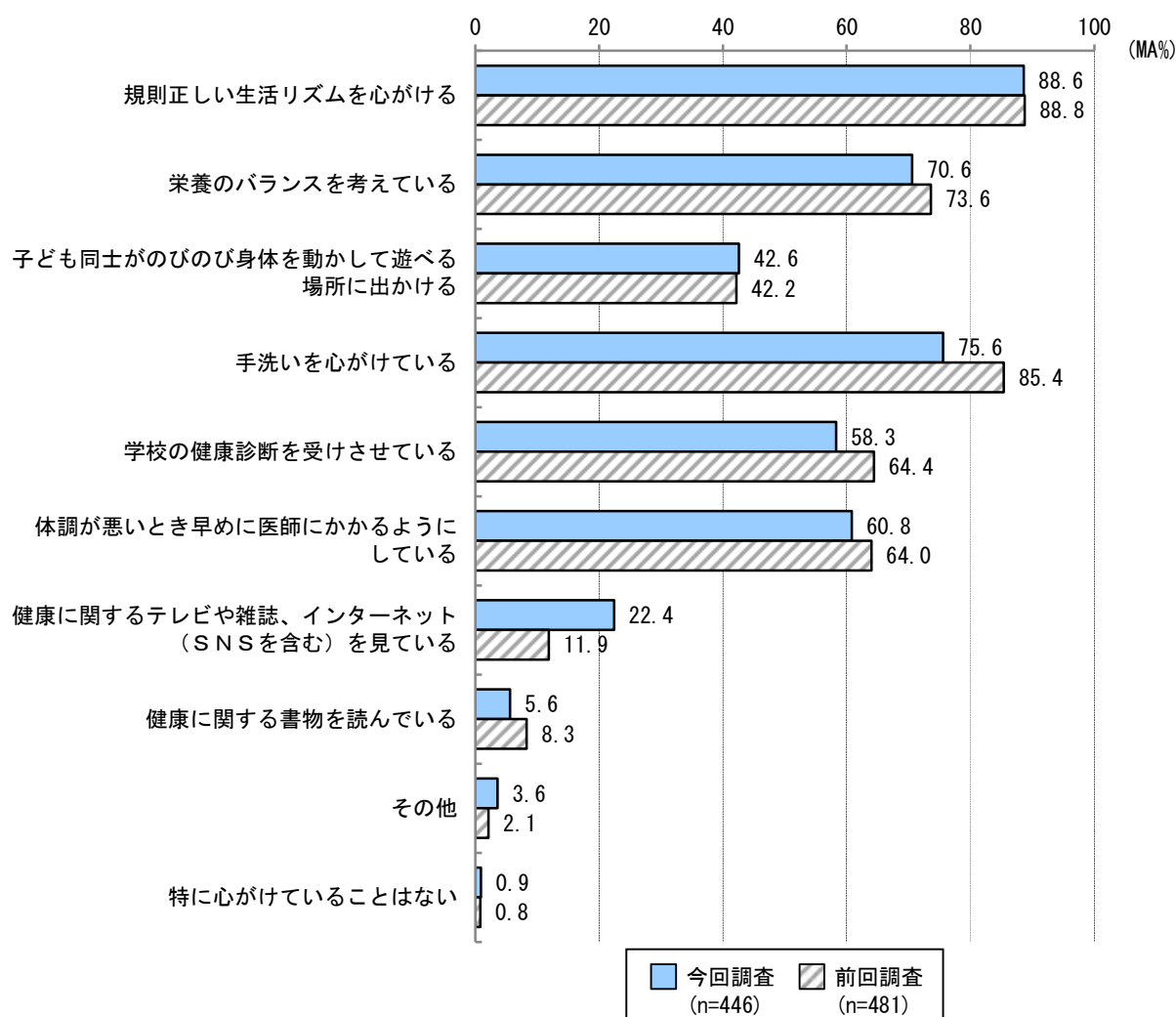
※「強くそう思う」=5点、「まあそう思う」=4点、「どちらとも言えない」=3点、「あまりそう思わない」=2点、「全くそう思わない」=1点

（５）健康づくりのために気をつけていること

Ⅱ-5. お子さんの健康で何か気をつけていることはありますか。＜複数回答＞

健康づくりのために気をつけていることについては、「規則正しい生活リズムを心がける」が88.6%で最も多く、次いで「手洗いを心がけている」が75.6%、「栄養のバランスを考えている」が70.6%となっています。

前回調査と比較すると、「健康に関するテレビや雑誌、インターネット（SNSを含む）を見ている」の割合が前回（11.9%）より10.5ポイント高くなっています。



※前回調査の「健康に関するテレビや雑誌を見ている」は、今回調査では「健康に関するテレビや雑誌、インターネット（SNSを含む）を見ている」に変更しています。

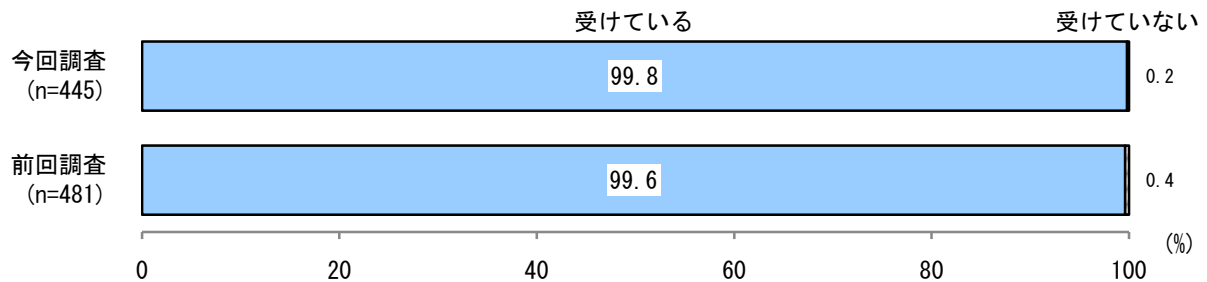
（６）健診の受診状況

① 健診受診の有無

Ⅱ-６．お子さんは、学校の健康診断を受けていますか。

学校の健康診断を受けているかについては、「受けている」が99.8%、「受けていない」が0.2%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。



② 健診を受診しない理由

【(6)①で「受けていない」と回答した人のみ】

健康診断を受診しない理由は何ですか。

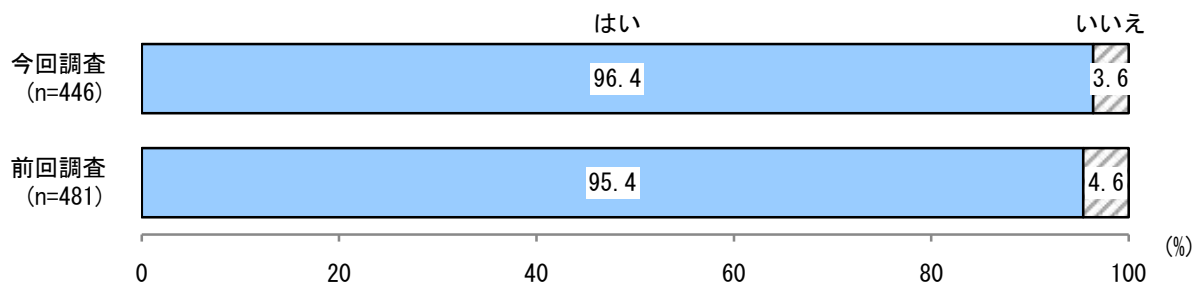
学校の健康診断を受けていないと回答した人の受診しない理由は、「健康診断がありません。」(1人)のみでした。

（７）かかりつけ医の有無

Ⅱ-７．お子さんは、かかりつけ医をもっていますか。

かかりつけ医をもっているかについては、「はい」(もっている)が96.4%、「いいえ」(もっていない)が3.6%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。



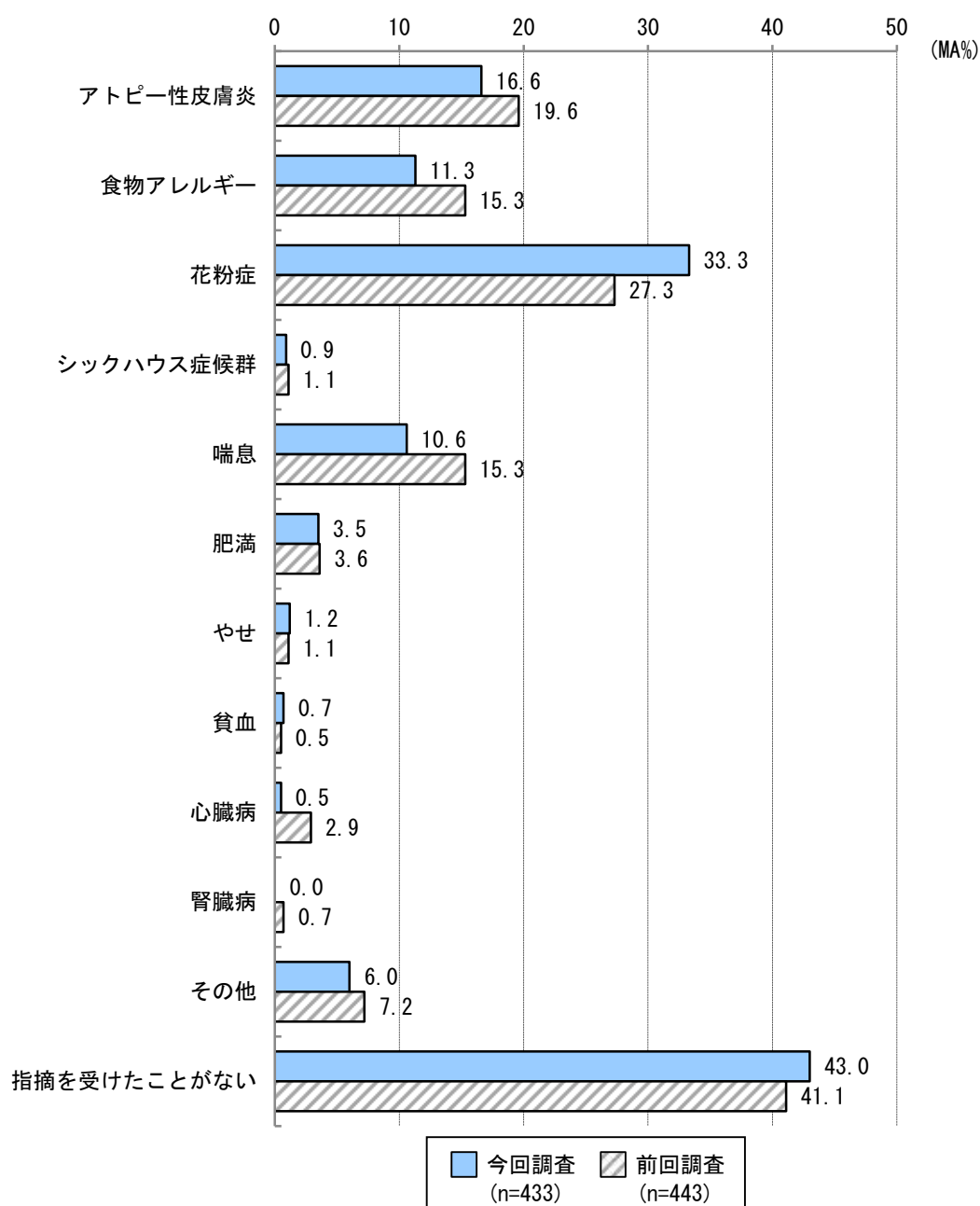
（８）病気等の状況

① 指摘を受けたことがある病気等

Ⅱ-8. お子さんは、今までに次の病気等について、医師等から指摘を受けたことがありますか。＜複数回答＞

医師等から指摘を受けたことがある病気等については、「指摘を受けたことがない」が43.0%で最も多く、次いで「花粉症」が33.3%、「アトピー性皮膚炎」が16.6%、「食物アレルギー」が11.3%となっています。

前回調査と比較すると、「花粉症」の割合が前回（27.3%）より6.0ポイント高くなっています。

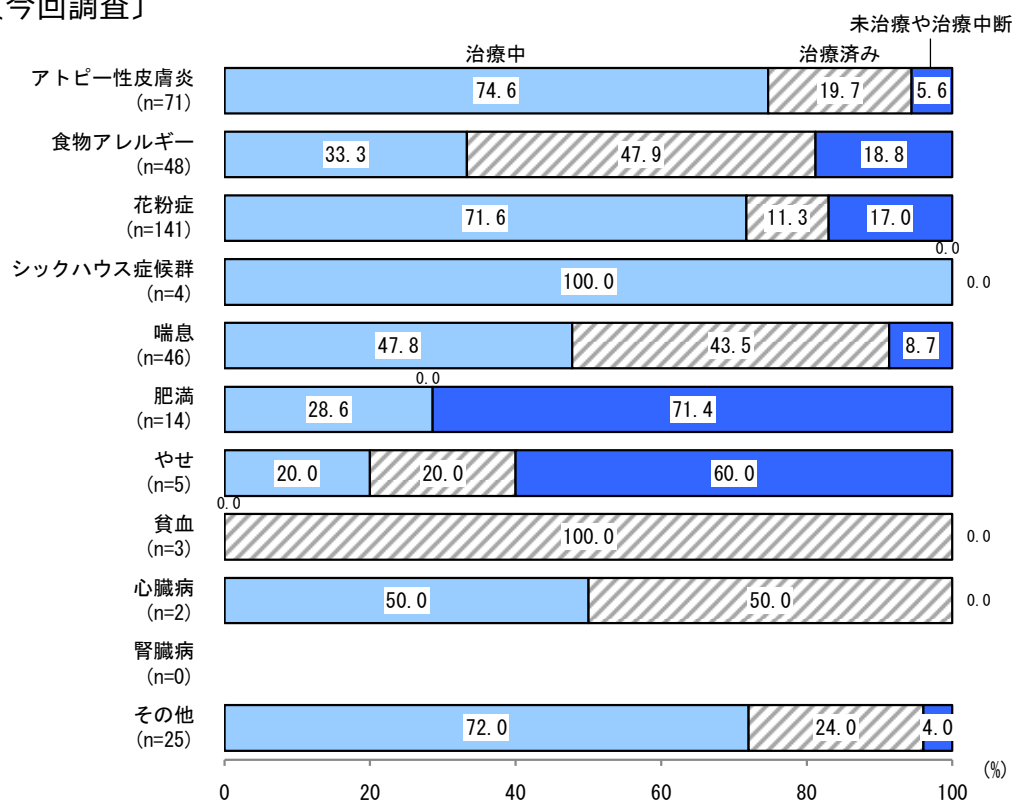


② 病気等の治療状況

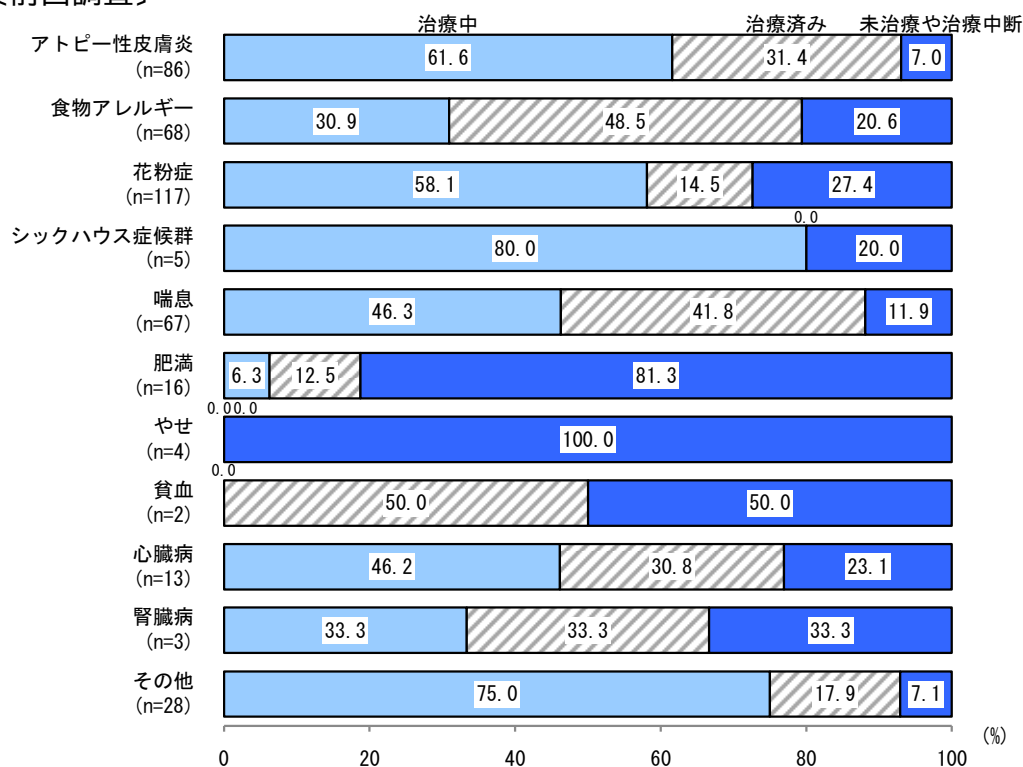
医師から指摘を受けた病気等の治療状況は、回答が多かった“花粉症”や“アトピー性皮膚炎”ではいずれも「治療中」が最も多く、“食物アレルギー”では「治療済み」が最も多くなっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。

〔今回調査〕



〔前回調査〕



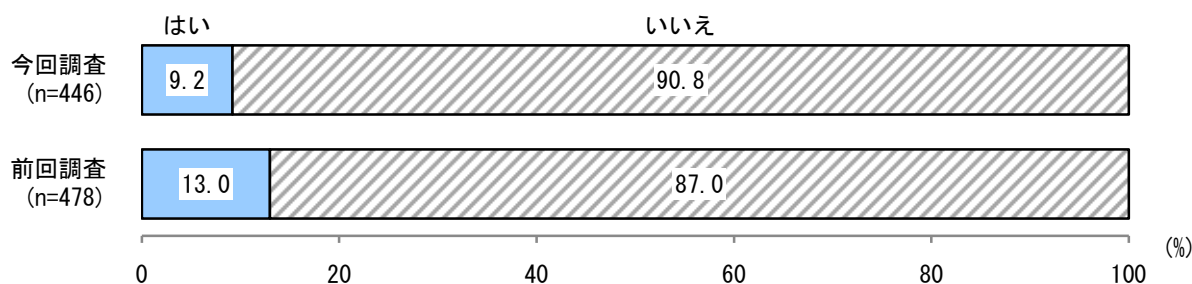
（９）骨折した経験の有無

① 骨折経験の有無

II-9. お子さんは、今までに骨折（ひびを含む）をしたことがありますか。

骨折したことがあるかについては、「はい」（ある）が9.2%、「いいえ」（ない）が90.8%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」（ある）の割合が前回（13.0%）より3.8ポイント低くなっています。

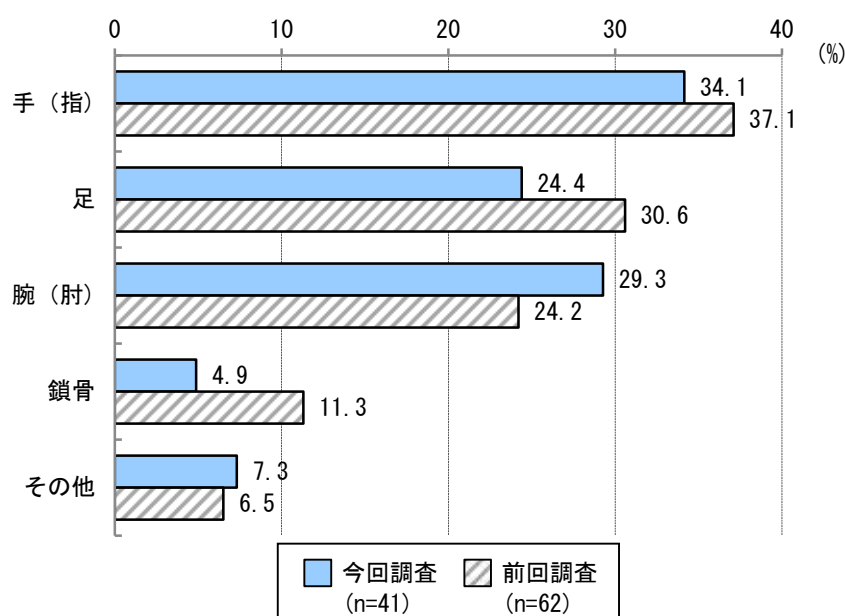


② 骨折部位

【(9)①で「はい」と回答した人のみ】

①骨折（ひびを含む）をした部位はどこですか。

骨折したことがあると回答した人に、骨折部位をたずねると、「手（指）」が34.1%で最も多く、次いで「腕（肘）」が29.3%、「足」が24.4%となっています。



※ここでは、記述式での回答を分類して集計しています。

③ 骨折の原因

【(9)①で「はい」と回答した人のみ】

②何をしているときに骨折（ひびを含む）をしましたか。

骨折したことがあると回答した人に、何をしているときに骨折したかを記述式でたずねました。意見分類ごとの件数は以下のとおりとなっています。

骨折の原因	件数
遊んでいるとき	15
転倒	7
転落	7
学校の授業・保育園・幼稚園	4
運動中	3
その他	4
無回答	1

（10）ヘッドホン難聴（イヤホン難聴）になるリスクの認知度

Ⅱ-10. ヘッドホンやイヤホンで大きな音を長時間連続して聞き続けることが、耳が聞こえにくくなったり、耳鳴りがしたり、耳が詰まったような感じがしたりするヘッドホン難聴（イヤホン難聴）になるリスクとなることを知っていますか。

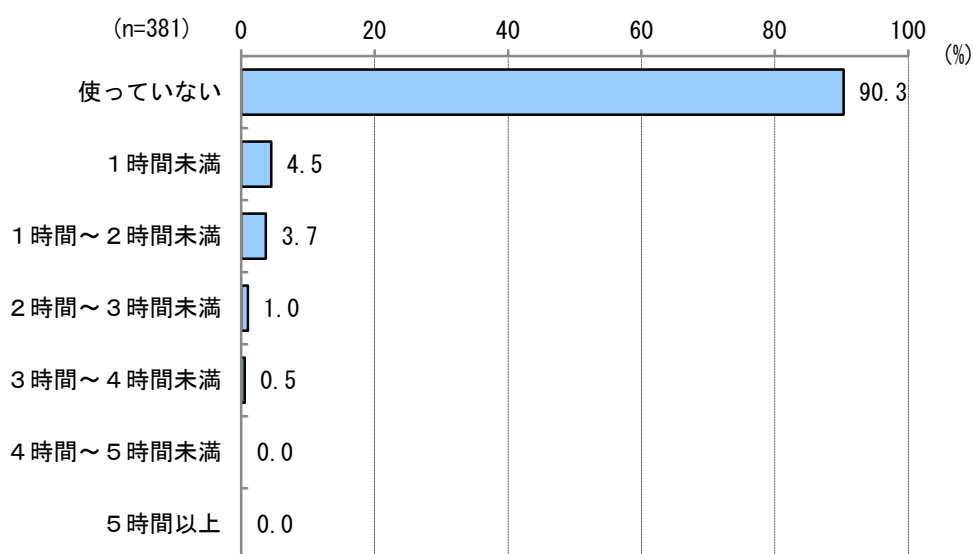
ヘッドホン難聴（イヤホン難聴）になるリスクの認知度については、「はい」（知っている）が78.1%、「いいえ」（知らない）が21.9%となっています。



（11）ヘッドホン・イヤホンの使用時間

Ⅱ-11. お子さんは、ヘッドホン・イヤホンを1日何時間程度使用しますか。

ヘッドホン・イヤホンの使用時間については、「使っていない」が90.3%で最も多く、次いで「1時間未満」が4.5%、「1時間～2時間未満」が3.7%となっています。



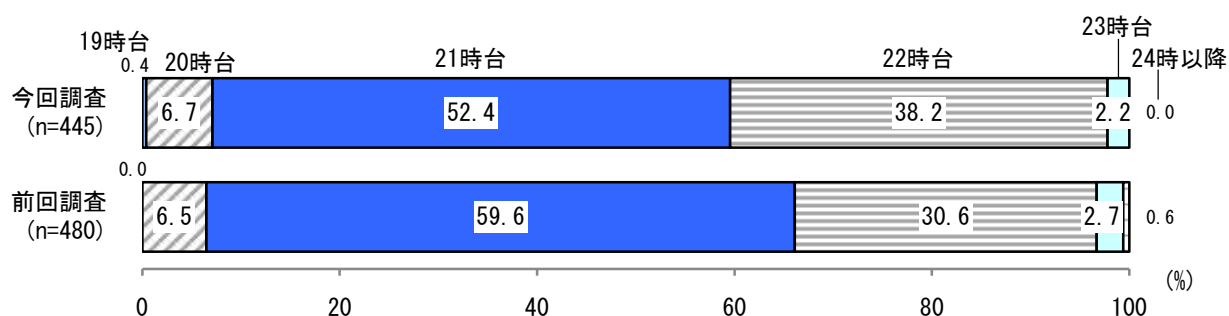
3 生活リズムについて

(1) 就寝時間

Ⅲ-1. お子さんの寝る時間は何時頃ですか。

就寝時間については、「21時台」が52.4%で最も多く、次いで「22時台」が38.2%、「20時台」が6.7%となっています。

前回調査と比較すると、「22時台」「23時台」「24時以降」をあわせた『22時以降』の割合が40.4%で、前回（33.9%）より6.5ポイント高くなっています。

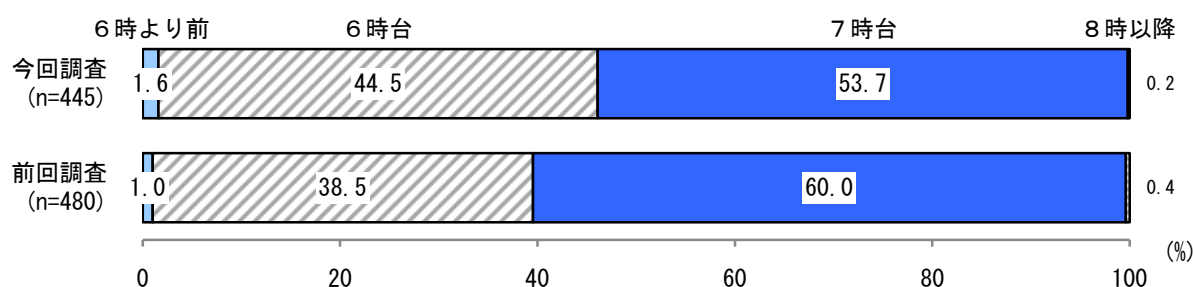


(2) 起床時間

Ⅲ-2. お子さんが朝、目を覚ます時間は何時頃ですか。

起床時間については、「7時台」が53.7%で最も多く、次いで「6時台」が44.5%、「6時より前」が1.6%となっています。

前回調査と比較すると、「6時台」の割合が前回（38.5%）より6.0ポイント高くなっています。

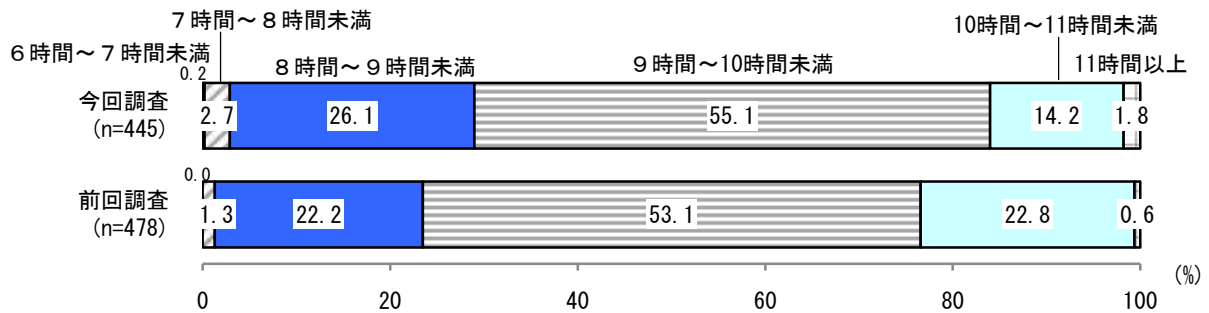


（３）睡眠時間

Ⅲ-3. お子さんは、1日に何時間くらい寝ていますか。

睡眠時間については、「9時間～10時間未満」が55.1%で最も多く、次いで「8時間～9時間未満」が26.1%、「10時間～11時間未満」が14.2%となっています。

前回調査と比較すると、「10時間～11時間未満」の割合が前回（22.8%）より8.6ポイント減少しています。



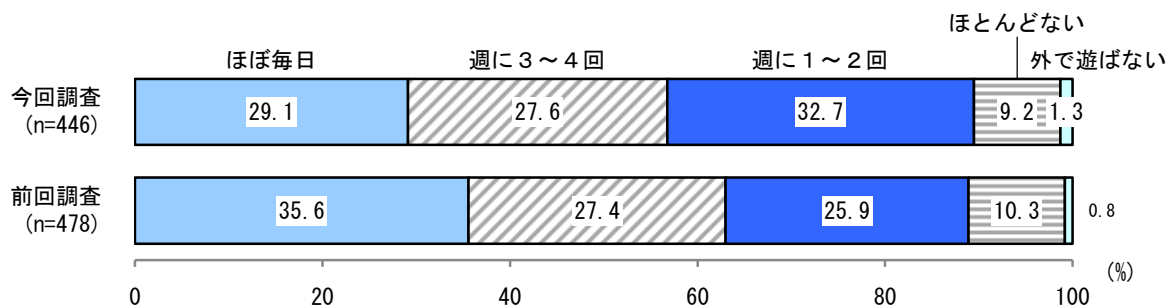
（４）外での遊びの状況

① 外遊びの頻度

Ⅲ-4. お子さんは、外遊びをしていますか。（1日1～2時間程度）

外遊びの頻度については、「週に1～2回」が32.7%で最も多く、次いで「ほぼ毎日」が29.1%、「週に3～4回」が27.6%となっています。

前回調査と比較すると、「週に1～2回」の割合が前回（25.9%）より6.8ポイント高く、「ほぼ毎日」の割合が前回（35.6%）より6.5ポイント低くなっています。



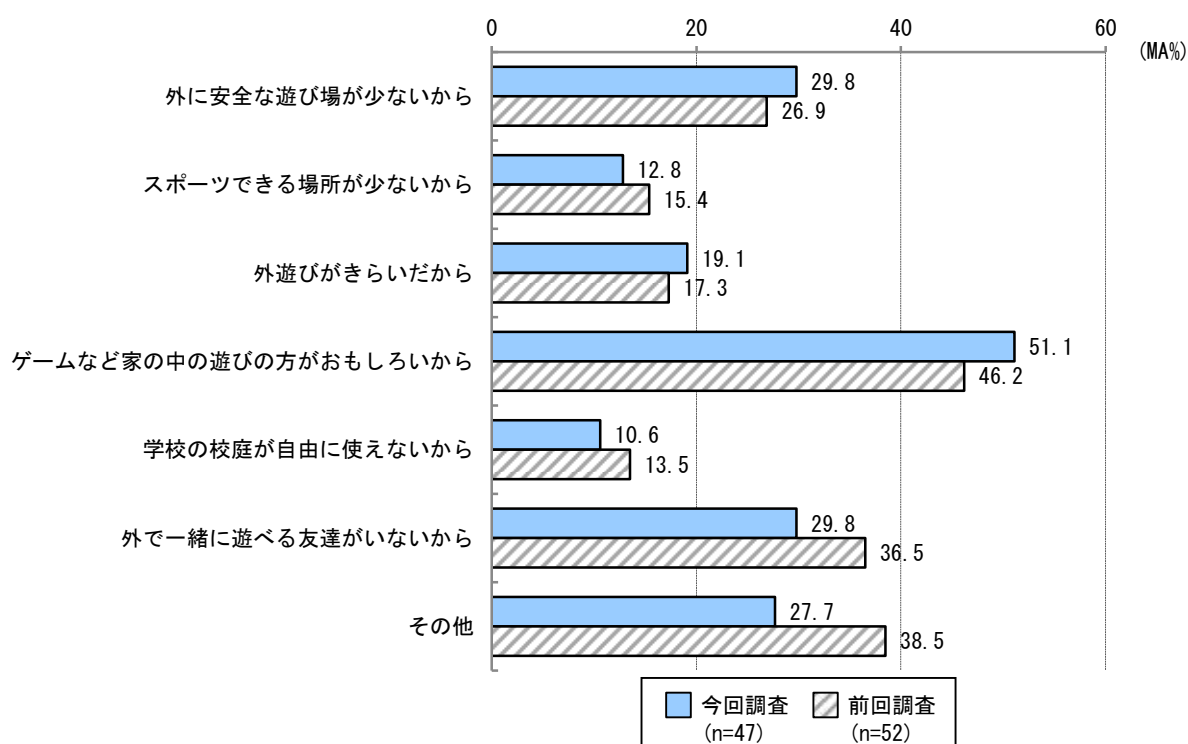
② 外で遊ぶことが少ない理由

【(4)①で「ほとんどない」「外で遊ばない」と回答した人のみ】

どうして外で遊ぶことが少ないのですか。＜複数回答＞

外で遊ぶことが少ないと回答した人に、その理由についてたずねると、「ゲームなど家の中の遊びの方がおもしろいから」が51.1%で最も多く、次いで「外に安全な遊び場が少ないから」と「外で一緒に遊べる友達がいらないから」がそれぞれ29.8%となっています。

前回調査と比較すると、「ゲームなど家の中の遊びの方がおもしろいから」の割合が前回（46.2%）より4.9ポイント高く、「外で一緒に遊べる友達がいらないから」の割合が前回（36.5%）より6.7ポイント低くなっています。

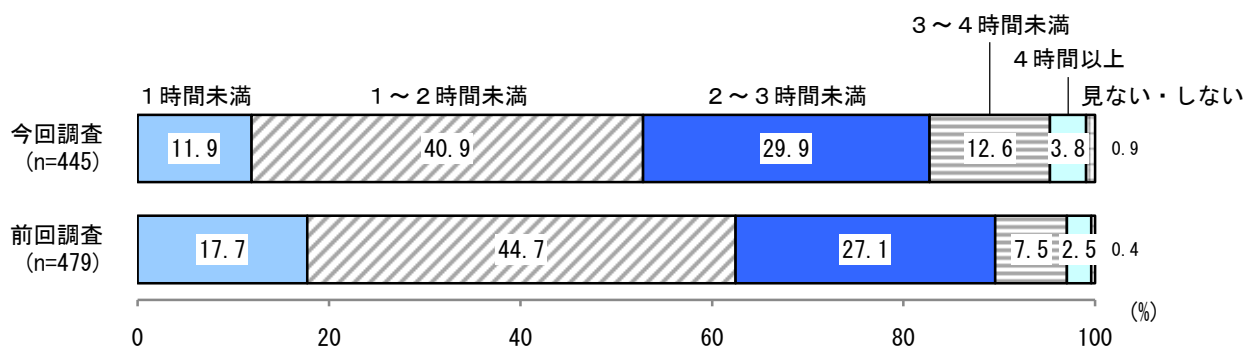


(5) テレビやゲーム等の時間数

Ⅲ-5. お子さんは、テレビや動画をみたり、ゲーム（スマートフォン・携帯用ゲーム機・ネットゲームを含む）などをする時間は1日に平均どのくらいありますか。

テレビ・動画・ゲーム等をする時間数については、「1～2時間未満」が40.9%で最も多く、次いで「2～3時間未満」が29.9%、「3～4時間未満」が12.6%となっています。

前回調査と比較すると、「3～4時間未満」の割合が前回（7.5%）より5.1ポイント高くなっています。



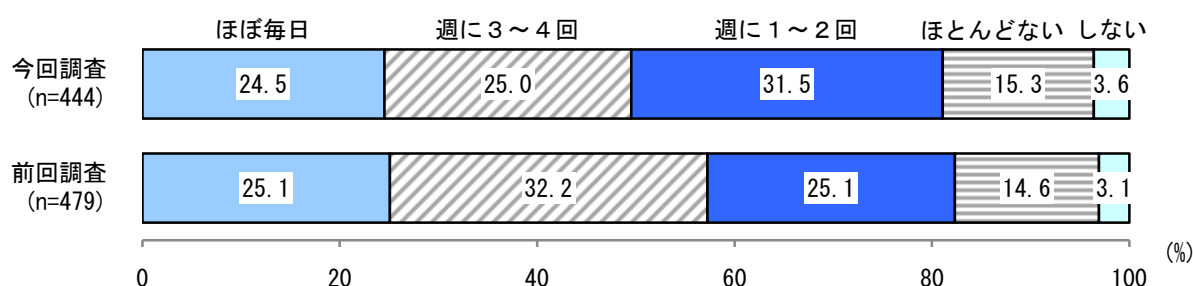
（6）運動やスポーツの状況

① 運動やスポーツの頻度

Ⅲ-6. お子さんは、放課後から寝るまでの間、身体を動かして遊んだり、スポーツをしたりしますか。

身体を動かして遊んだり、スポーツをする頻度については、「週に1～2回」が31.5%で最も多く、次いで「週に3～4回」が25.0%、「ほぼ毎日」が24.5%となっています。

前回調査と比較すると、「週に1～2回」の割合が前回（25.1%）より6.4ポイント高く、「週に3～4回」の割合が前回（32.2%）より7.2ポイント低くなっています。



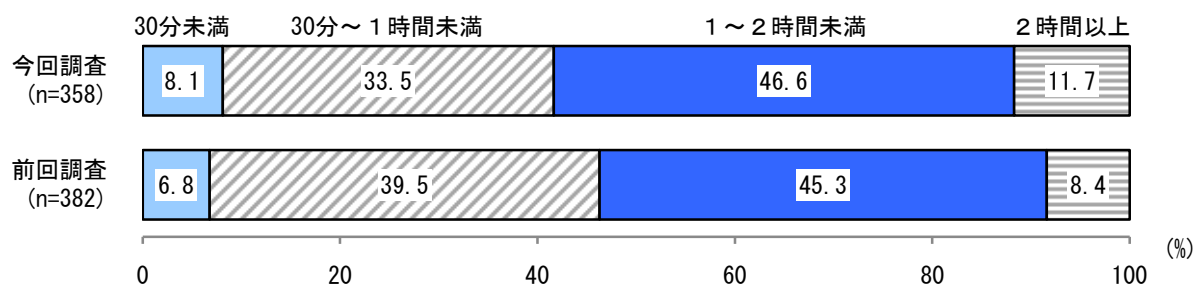
② 運動やスポーツの時間数

【(6)①で「ほぼ毎日」「週3～4回」「週に1～2回」のいずれかに回答した人のみ】

それは1日に平均どのくらいしますか。

週に1回以上身体を動かして遊んだり、スポーツをしていると回答した人に、1日に平均どのくらいしているかをたずねると、「1～2時間未満」が46.6%で最も多く、次いで「30分～1時間未満」が33.5%となっています。

前回調査と比較すると、「30分～1時間未満」の割合が前回（39.5%）より6.0ポイント低くなっており、「2時間以上」の割合が前回（8.4%）より3.3%高くなっています。

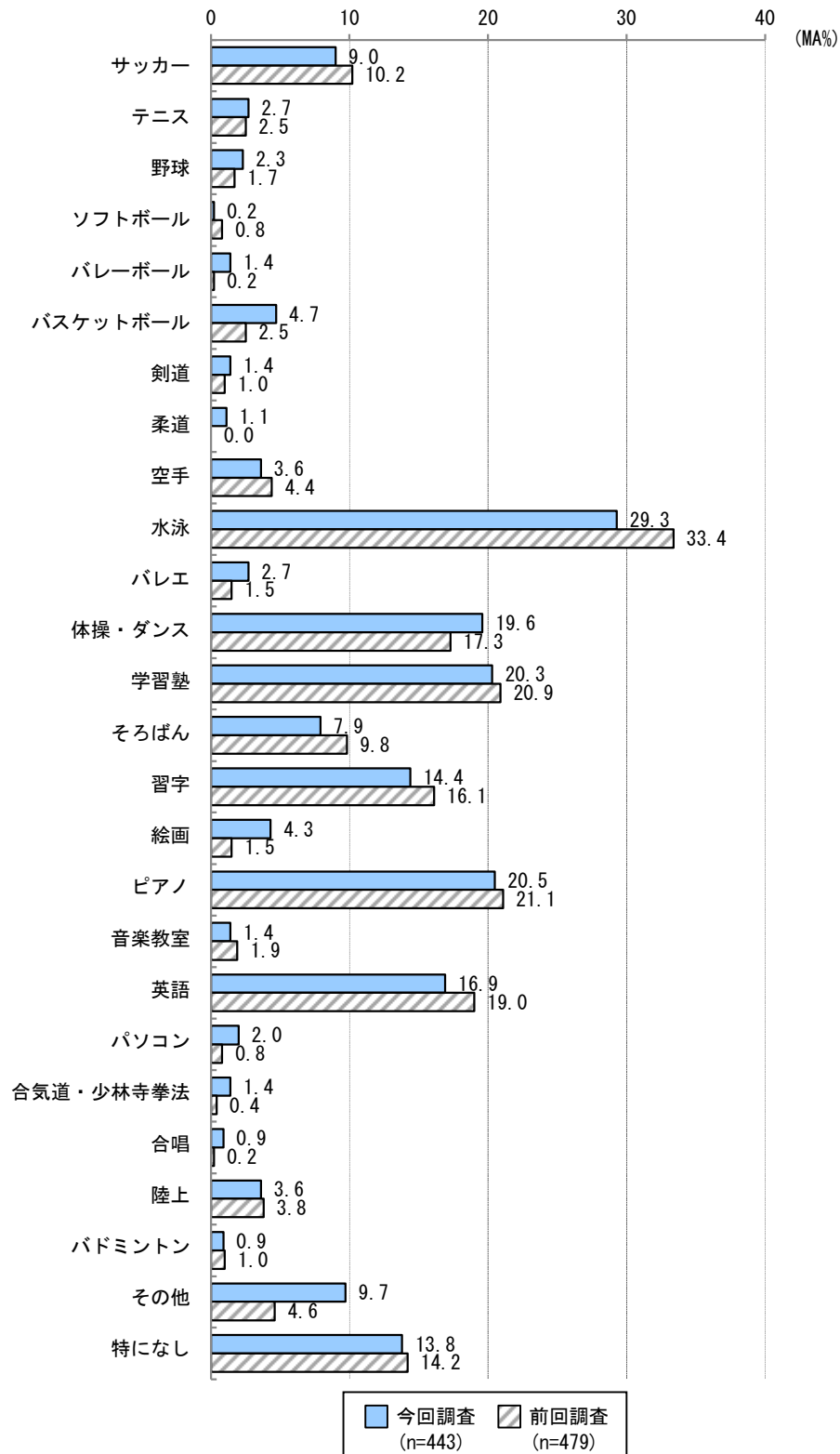


(7) 習い事の状況

Ⅲ-7. お子さんが今習っているもの、通っているものがありますか。＜複数回答＞

習い事については、「水泳」が29.3%で最も多く、次いで「ピアノ」が20.5%、「学習塾」が20.3%となっています。

前回調査と比較すると、「絵画」の割合が前回（1.5%）より2.8ポイント高く、「水泳」の割合が前回（33.4%）より4.1ポイント低くなっています。

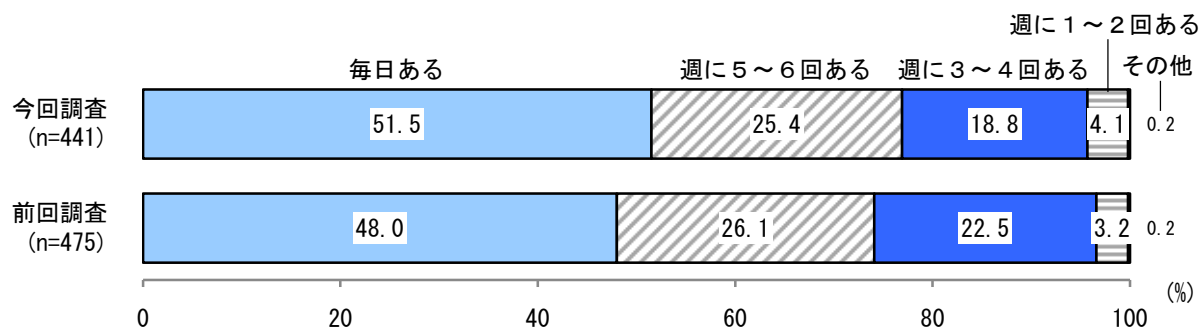


（8）排便状況

Ⅲ-8. お子さんの排便状況をお聞きます。

排便状況については、「毎日ある」が51.5%で最も多く、次いで「週に5～6回ある」が25.4%、「週に3～4回ある」が18.8%となっています。

前回調査と比較すると、「毎日ある」の割合が前回（48.0%）より3.5ポイント高くなっています。



4 食習慣について

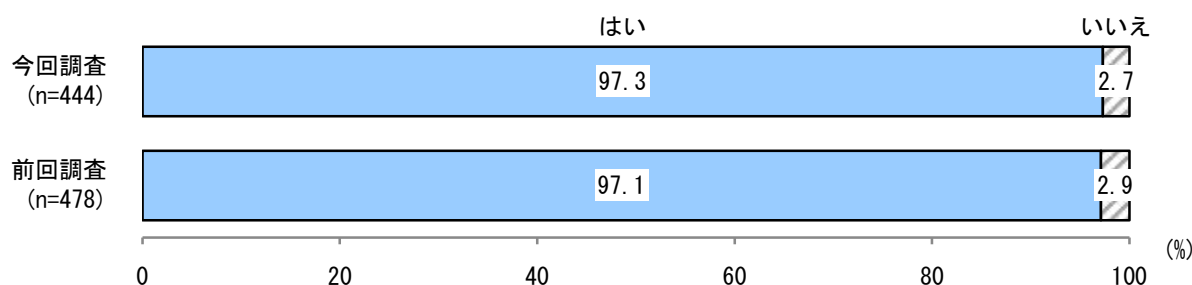
(1) 1日3食の習慣の状況

① 1日3食の習慣の有無

IV-1. お子さんは、1日3食（朝食・昼食・夕食）を毎日食べていますか。

1日3食を毎日食べているかについては、「はい」（食べている）が97.3%、「いいえ」（食べていない）が2.7%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。



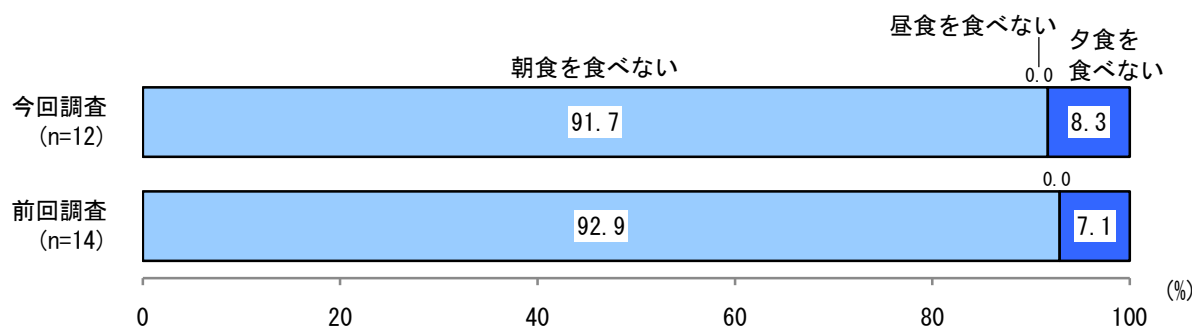
② 3食のうち抜くことがある食事

【(1)①で「いいえ」と回答した人のみ】

IV-2. ①食べないのは3食のうちどれですか。

1日3食を毎日食べていないと回答した人に、3食のうち抜くことがある食事をたずねると、「朝食を食べない」が91.7%（11人）で最も多く、次いで「夕食を食べない」が8.3%（1人）となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。



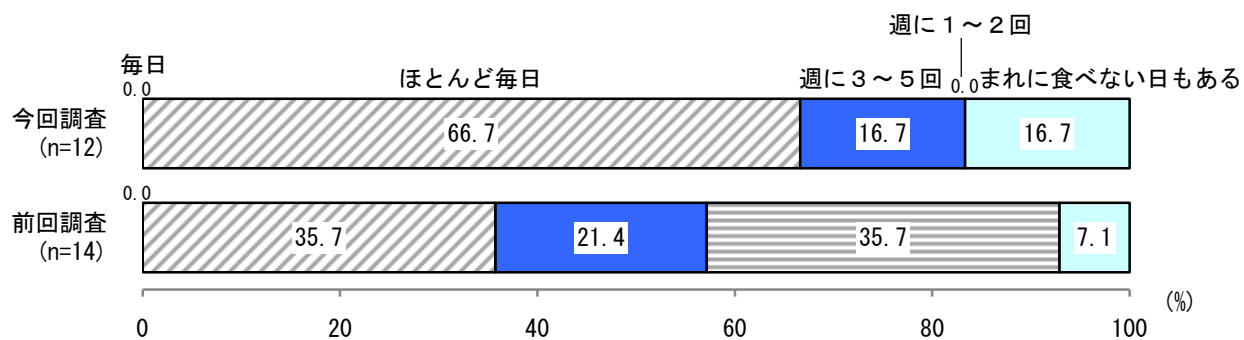
※「朝食と昼食を食べない」「昼食と夕食を食べない」「朝食と夕食を食べない」「3食とも食べない」はいずれも0.0%のため省略しています。

③ 食事を抜く頻度

【(1)①で「いいえ」と回答した人のみ】

②食べないのはどのくらいの頻度ですか。

1日3食を毎日食べていないと回答した人（12人）に、食事を抜く頻度をたずねると、「ほとんど毎日」が66.7%（8人）で最も多く、次いで「週に3～5回」と「まれに食べない日もある」がそれぞれ16.7%（2人）となっています。



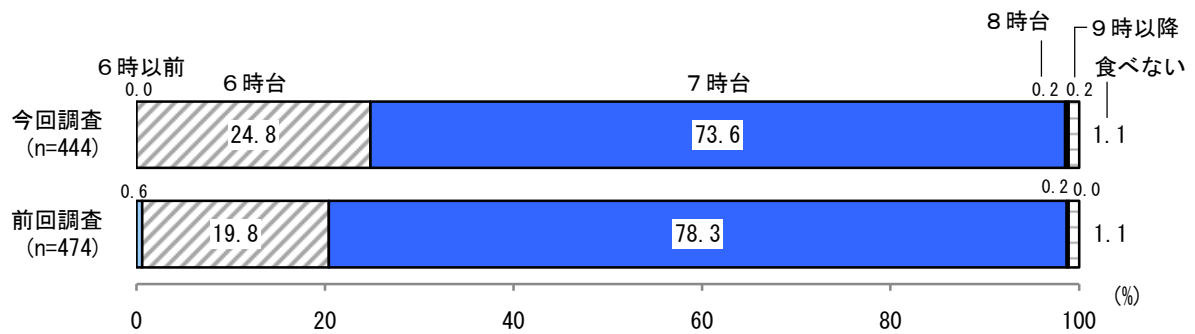
(2) 朝食の状況

① 朝食の時間

IV-3. お子さんは、朝食を何時頃に食べますか。

朝食の時間については、「7時台」が73.6%で最も多く、次いで「6時台」が24.8%、「食べない」が1.1%となっています。

前回調査と比較すると、「6時台」の割合が前回（19.8%）より5.0ポイント高くなっています。

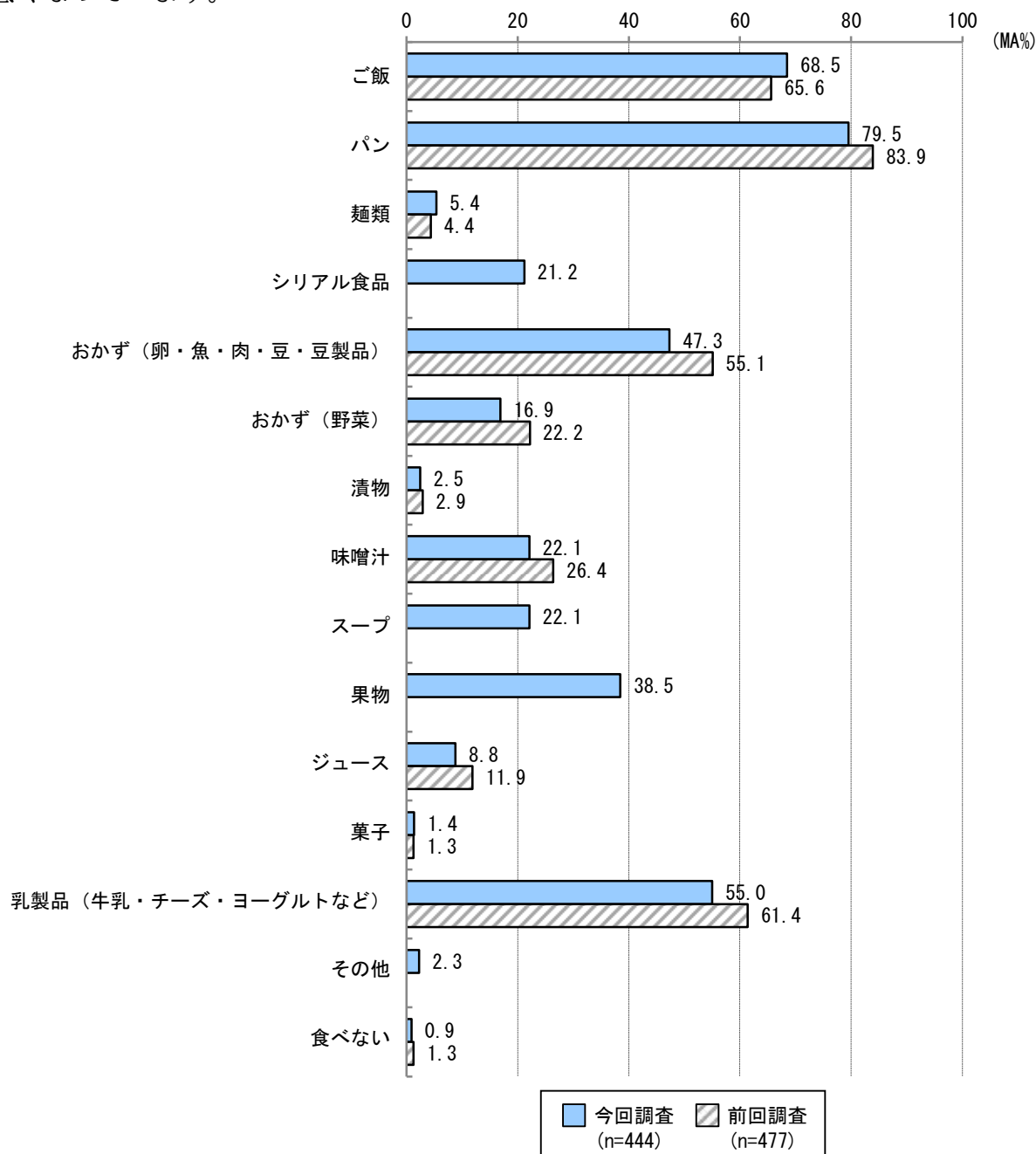


② 朝食の内容

IV-4. お子さんのふだんの朝食の内容をお聞きます。＜複数回答＞

ふだんの朝食の内容については、「パン」が79.5%で最も多く、次いで「ご飯」が68.5%、「乳製品（牛乳・チーズ・ヨーグルトなど）」が55.0%となっています。

前回調査と比較すると、「おかず（卵・魚・肉・豆・豆製品）」の割合が前回（55.1%）より7.8ポイント、「乳製品（牛乳・チーズ・ヨーグルトなど）」の割合が前回（61.4%）より6.4ポイント、「おかず（野菜）」の割合が前回（22.2%）より5.3ポイント、それぞれ低くなっています。



※今回調査の「シリアル食品」「スープ」「果物」「その他」は新規項目です。

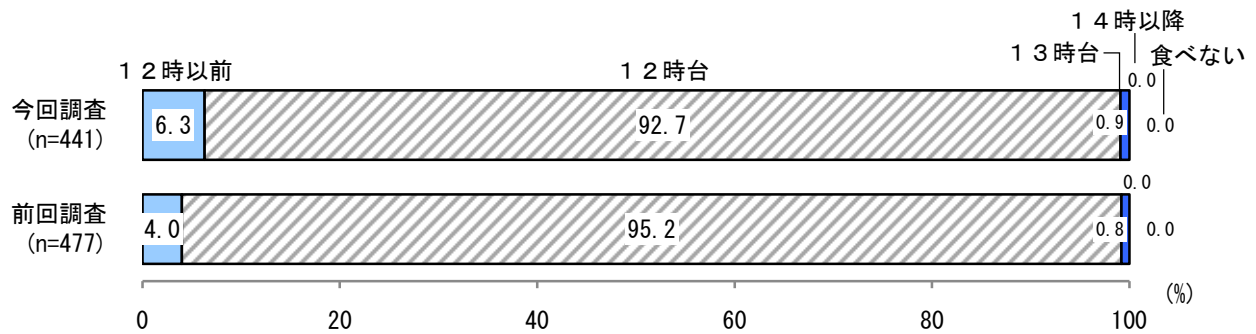
(3) 昼食の状況

① 昼食の時間

IV-5. お子さんは、昼食を何時頃に食べますか。

昼食の時間については、「12時台」が92.7%で最も多く、次いで「12時以前」が6.3%、「13時台」が0.9%となっています。

前回調査と比較すると、「12時以前」の割合が前回（4.0%）より2.3ポイント高く、「12時台」の割合が前回（95.2%）より2.5ポイント減少しています。

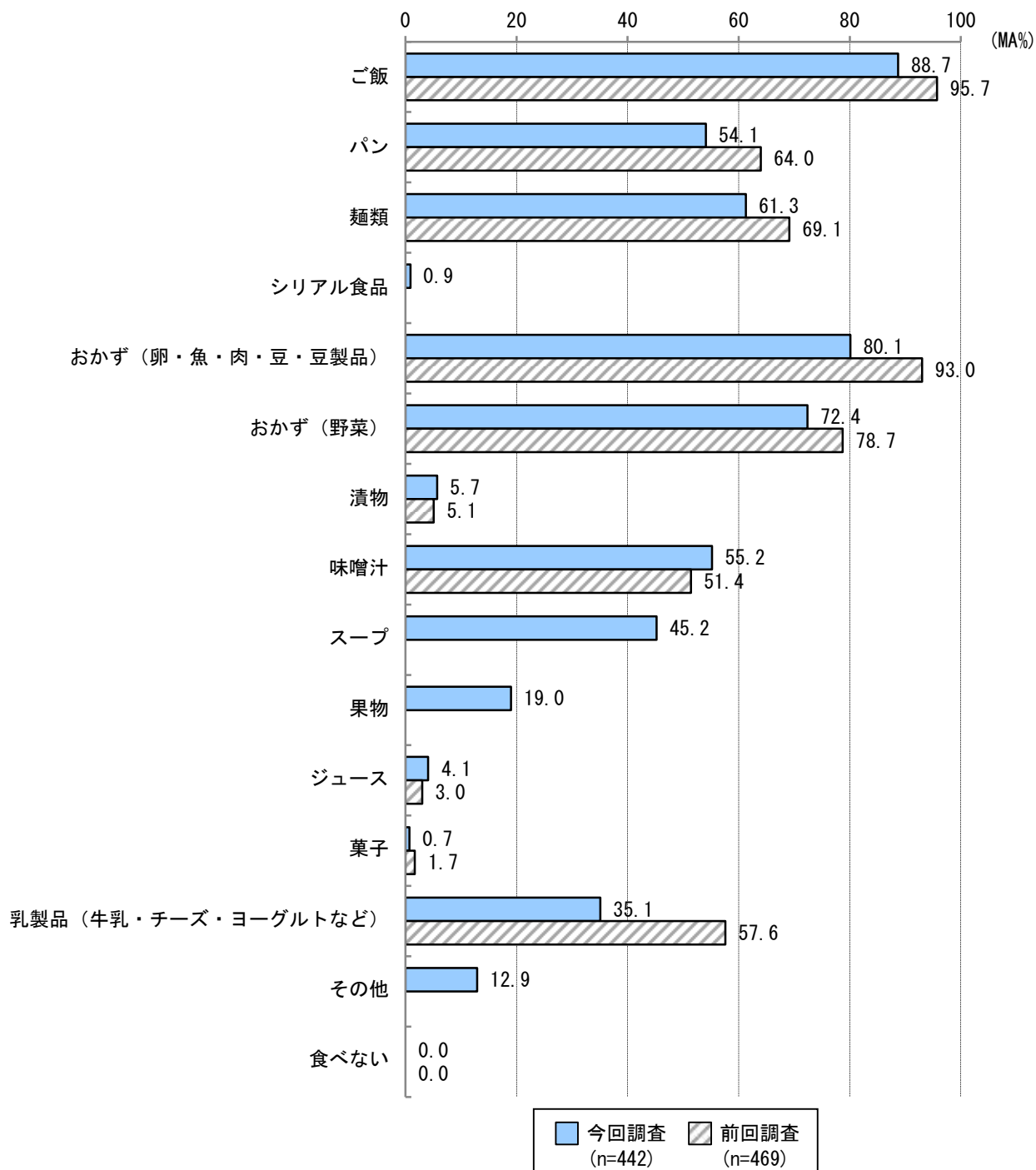


② 昼食の内容

IV-6. お子さんのふだんの昼食の内容をお聞きます。＜複数回答＞

ふだんの昼食の内容については、「ご飯」が88.7%で最も多く、次いで「おかず（卵・魚・肉・豆・豆製品）」が80.1%、「おかず（野菜）」が72.4%となっています。

前回調査と比較すると、「乳製品（牛乳・チーズ・ヨーグルトなど）」の割合が前回（57.6%）より22.5ポイント、「おかず（卵・魚・肉・豆・豆製品）」の割合が前回（93.0%）より12.9ポイント、「おかず（野菜）」の割合が前回（78.7%）より6.3ポイント、それぞれ低くなっています。



※今回調査の「シリアル食品」「スープ」「果物」「その他」は新規項目です。

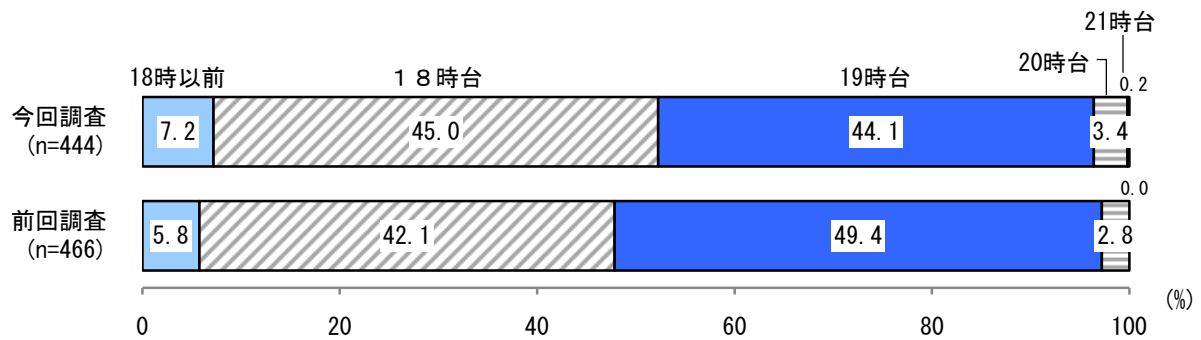
(4) 夕食の状況

① 夕食の時間

IV-7. お子さんは、夕食を何時頃に食べますか。

夕食の時間については、「18時台」が45.0%で最も多く、次いで「19時台」が44.1%、「18時以前」が7.2%となっています。

前回調査と比較すると、「19時台」の割合が前回（49.4%）より5.3ポイント低くなっています。



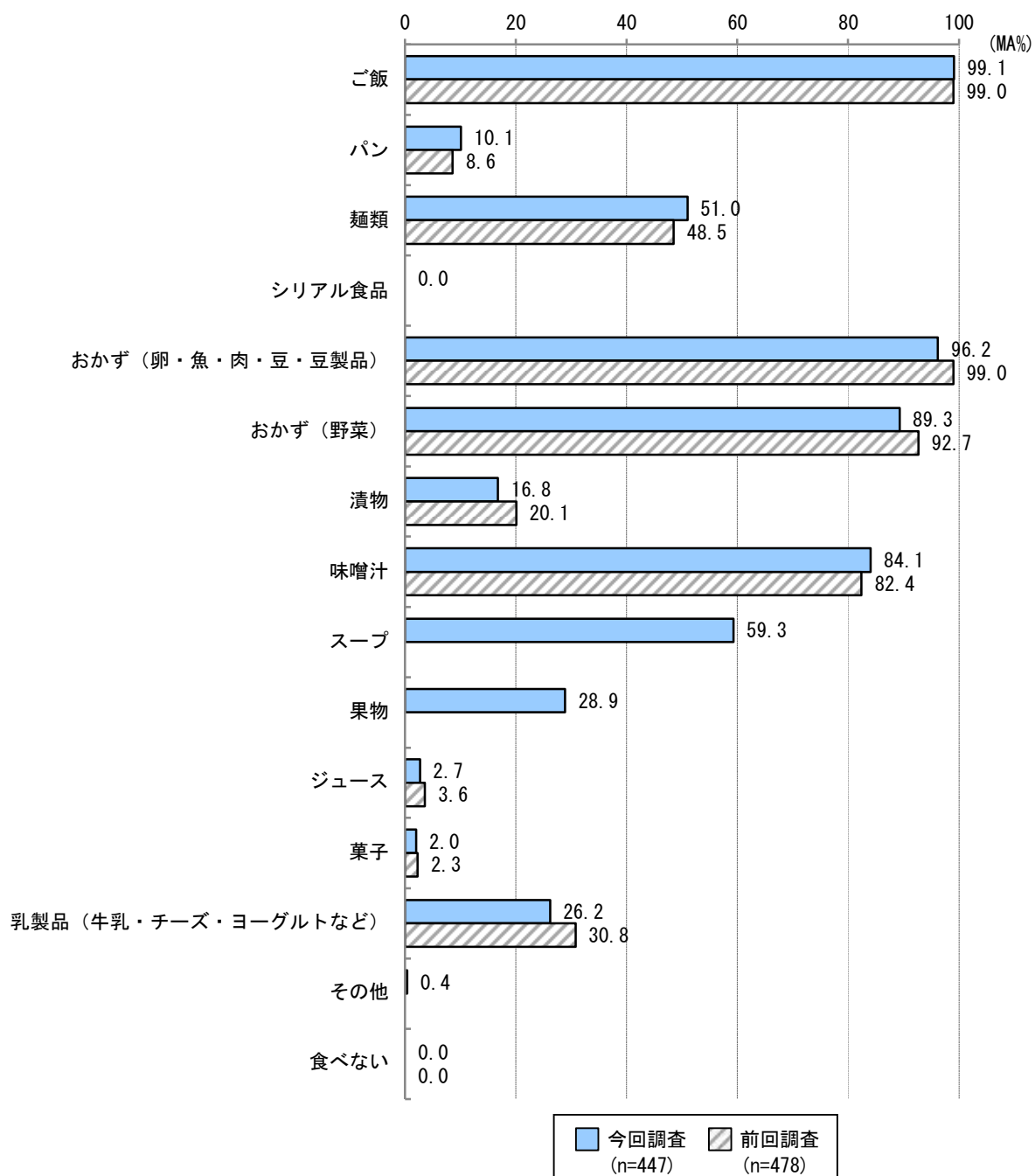
※「22時以降」と「食べない」はいずれも0.0%のため省略しています。

② 夕食の内容

IV-8. お子さんのふだんの夕食の内容をお聞きます。＜複数回答＞

ふだんの夕食の内容については、「ご飯」が99.1%で最も多く、次いで「おかず（卵・魚・肉・豆・豆製品）」が96.2%、「おかず（野菜）」が89.3%となっています。

前回調査と比較すると、「乳製品（牛乳・チーズ・ヨーグルトなど）」の割合が前回（30.8%）より4.6ポイント、「おかず（野菜）」の割合が前回（92.7%）より3.4ポイント、「おかず（卵・魚・肉・豆・豆製品）」の割合が前回（99.0%）より2.8ポイント、それぞれ低くなっています。



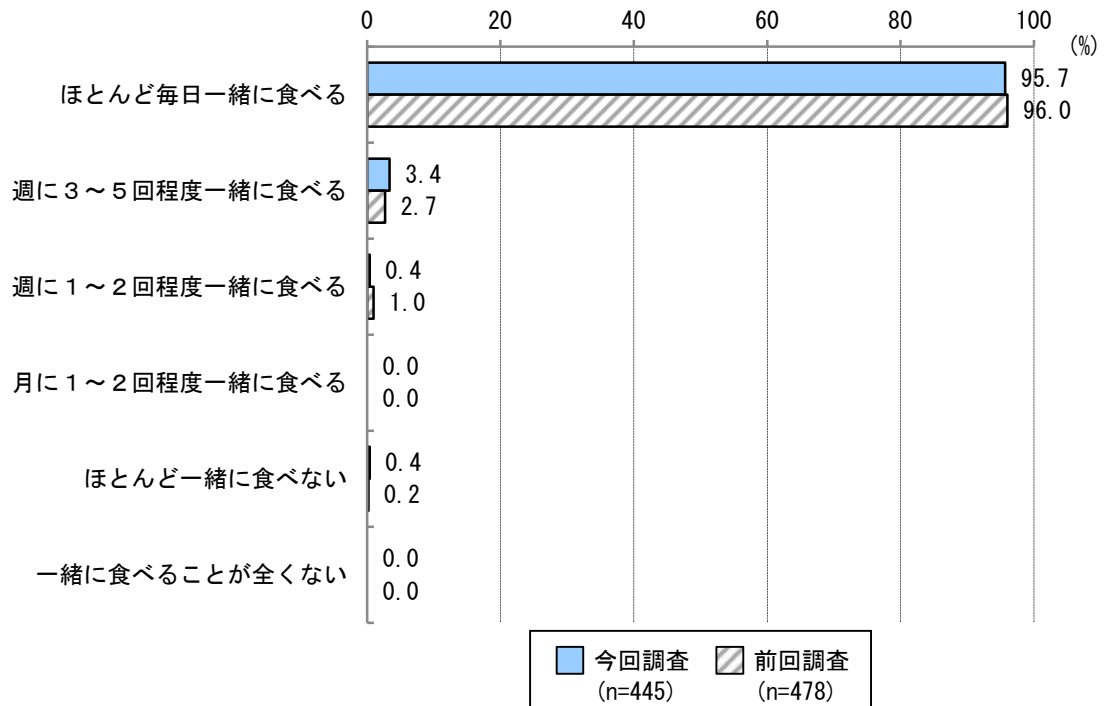
※今回調査の「シリアル食品」「スープ」「果物」「その他」は新規項目です。

(5) 家族と食事をする頻度

IV-9. お子さんは、ふだんどのくらいの頻度で家族と一緒に食事をしますか。

家族と一緒に食事をする頻度については、「ほとんど毎日一緒に食べる」が95.7%で最も多く、次いで「週に3～5回程度一緒に食べる」が3.4%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。



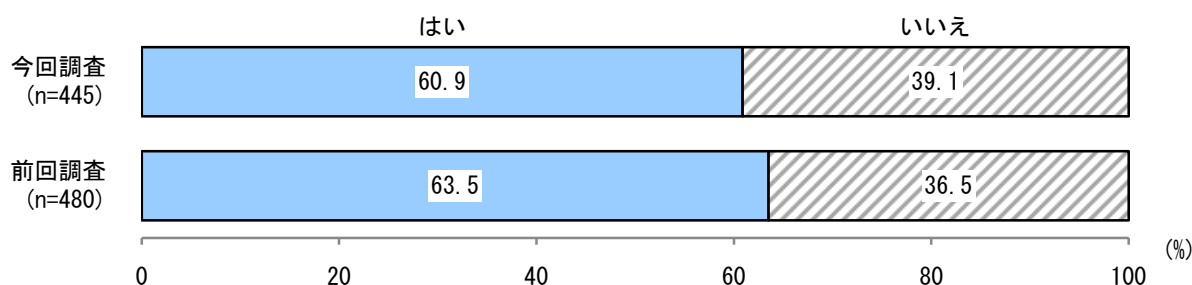
（６）食事中のテレビの視聴状況

① 食事中のテレビの視聴有無

IV-10. お子さんの食事中にテレビや動画をつけていますか。

食事中のテレビや動画の視聴有無については、「はい」（つけている）が60.9%、「いいえ」（つけていない）が39.1%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。



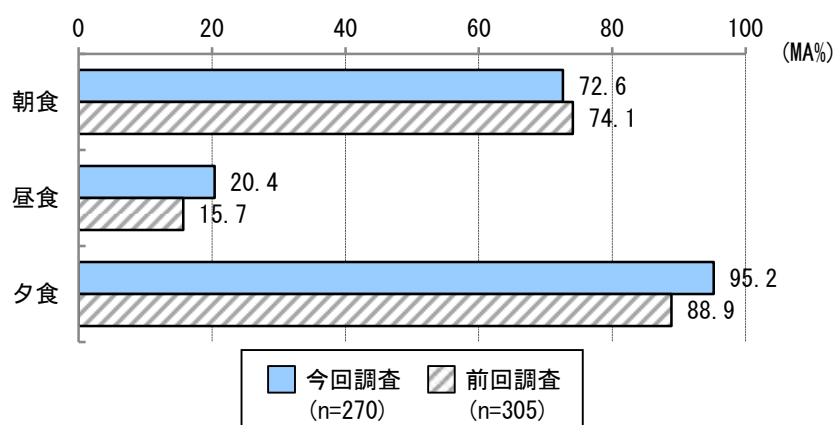
② テレビをつけながらとる食事

【(6)①で「はい」と回答した人のみ】

IV-11. それはいつですか。＜複数回答＞

食事中にテレビや動画をつけていると回答した人に、それはいつかをたずねると、「夕食」が95.2%で最も多く、次いで「朝食」が72.6%、「昼食」が20.4%となっています。

前回調査と比較すると、「夕食」の割合が前回（88.9%）より6.3ポイント高くなっています。

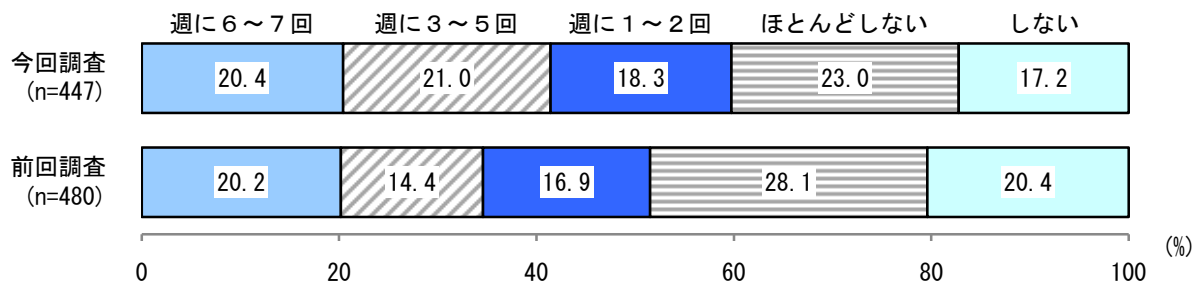


(7) 夕食後の間食の頻度

IV-12. お子さんは、夕食後に何か食べたり、飲んだりしますか。

夕食後の間食の頻度については、「ほとんどしない」が23.0%で最も多く、次いで「週に3～5回」が21.0%、「週に6～7回」が20.4%となっています。

前回調査と比較すると、「週に3～5回」「週に6～7回」をあわせた『週に3～5回以上』の割合が前回（34.6%）より6.8ポイント高くなっています。

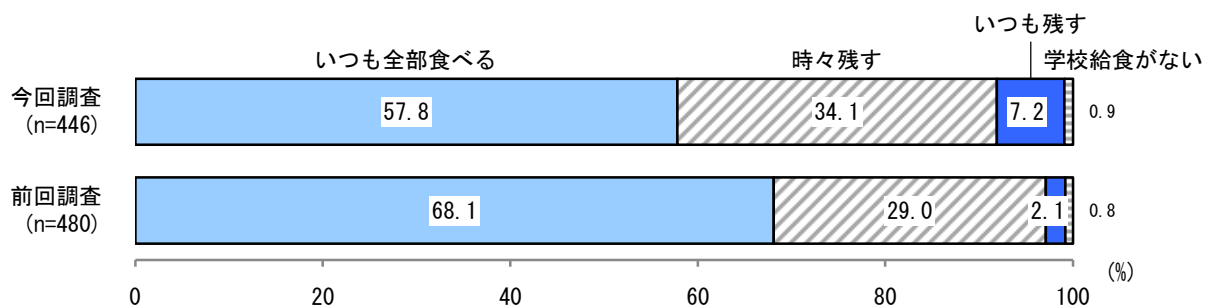


(8) 学校給食の食べ残しの状況

IV-13. お子さんは、学校給食を全部食べますか。

学校給食の食べ残しの状況については、「いつも全部食べる」が57.8%で最も多く、次いで「時々残す」が34.1%、「いつも残す」が7.2%となっており、「時々残す」「いつも残す」をあわせた『残す』の割合は41.3%となっています。

前回調査と比較すると、「いつも全部食べる」の割合が前回（68.1%）より10.3ポイント低く、『残す』の割合が前回（31.1%）より10.2ポイント高くなっています。

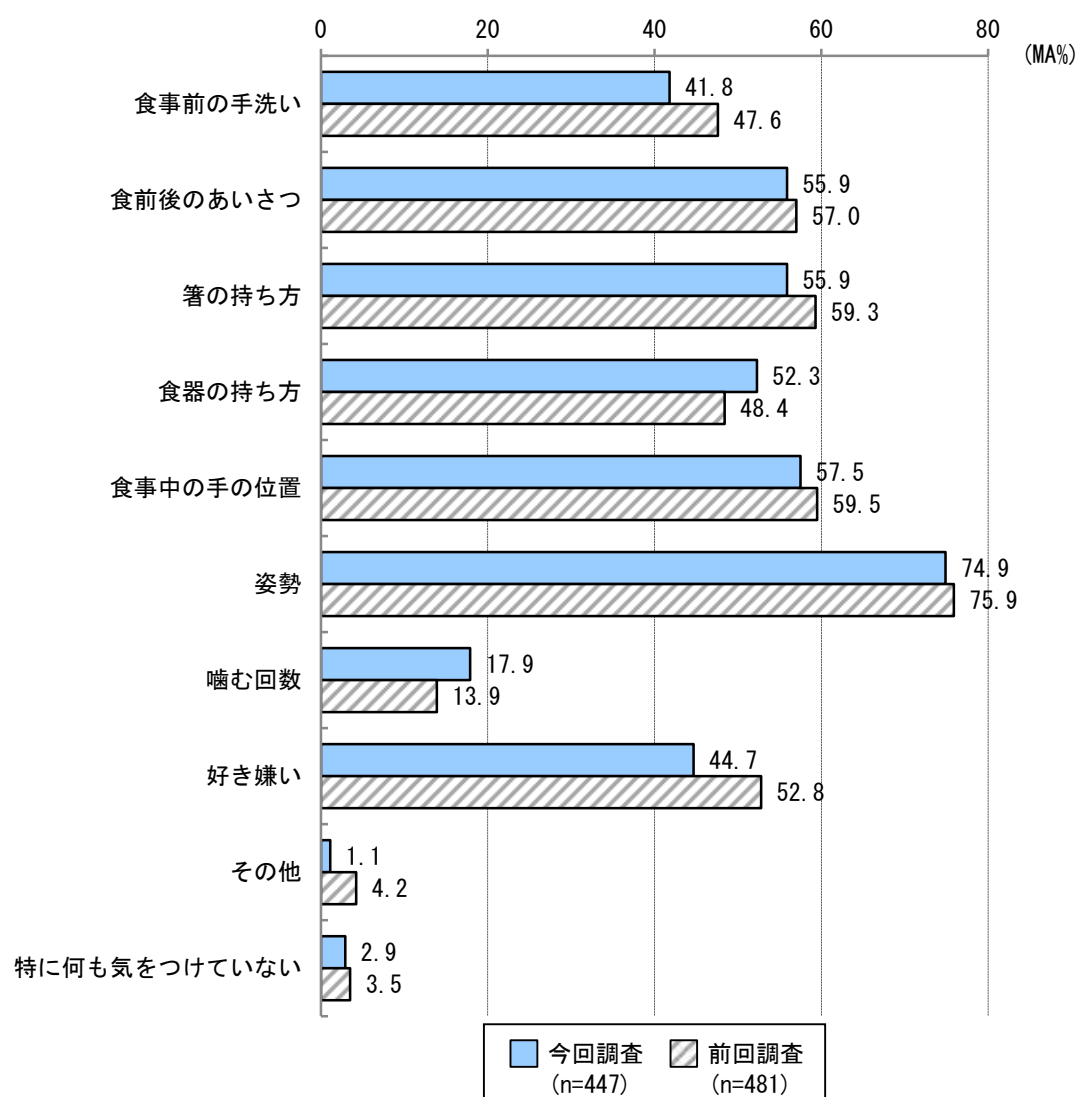


（9）食事に関して気をつけていること

IV-14. お子さんに対して、気をつけていることは何ですか。＜複数回答＞

食事に関して気をつけていることについては、「姿勢」が74.9%で最も多く、次いで「食事中の手の位置」が57.5%、「食前後のあいさつ」と「箸の持ち方」がそれぞれ55.9%となっています。

前回調査と比較すると、「噛む回数」の割合が前回（13.9%）より4.0ポイント、「食器の持ち方」の割合が前回（48.4%）より3.9ポイント、それぞれ高くなっており、「好き嫌い」の割合が前回（42.8%）より8.1ポイント低くなっています。



(10) 好きな料理・嫌いな食べ物

IV-15. お子さんの好きな料理を上位3つまでご記入ください。

IV-16. お子さんの嫌いな食べ物（料理名ではなく食材）を上位3つまでご記入ください。
 <複数回答（3つまで）>

好きな料理としては、男女ともに、「カレーライス」（男性85人、女性64人）、「から揚げ」（男性78人、女性68人）、「ハンバーグ」（男性57人、女性63人）が上位3位となっています。

一方、嫌いな食べ物としては、男女ともに「なす」（男性58人、女性52人）、「ピーマン」（男性46人、女性55人）が上位2位となっており、次いで男性は「トマト」（42人）、女性は「きのこ類（全般）」（48人）となっています。

■好きな料理（上位10品）

男 性			女 性		
〔1位〕	カレーライス	85人	〔1位〕	から揚げ	68人
〔2位〕	から揚げ	78人	〔2位〕	カレーライス	64人
〔3位〕	ハンバーグ	57人	〔3位〕	ハンバーグ	63人
〔4位〕	ラーメン	41人	〔4位〕	オムライス	61人
	寿司		〔5位〕	ラーメン	36人
〔6位〕	オムライス	28人	〔6位〕	寿司	28人
〔7位〕	焼肉、ステーキ	22人	〔7位〕	餃子	22人
〔8位〕	餃子	18人	〔8位〕	スパゲッティ・パスタ	17人
〔9位〕	スパゲッティ・パスタ	13人	〔9位〕	ポテト、フライドポテト	15人
	うどん			鶏肉料理	
	魚（魚料理全般）				
	肉（肉料理全般）				
	チャーハン				

■嫌いな食べ物（上位10品）

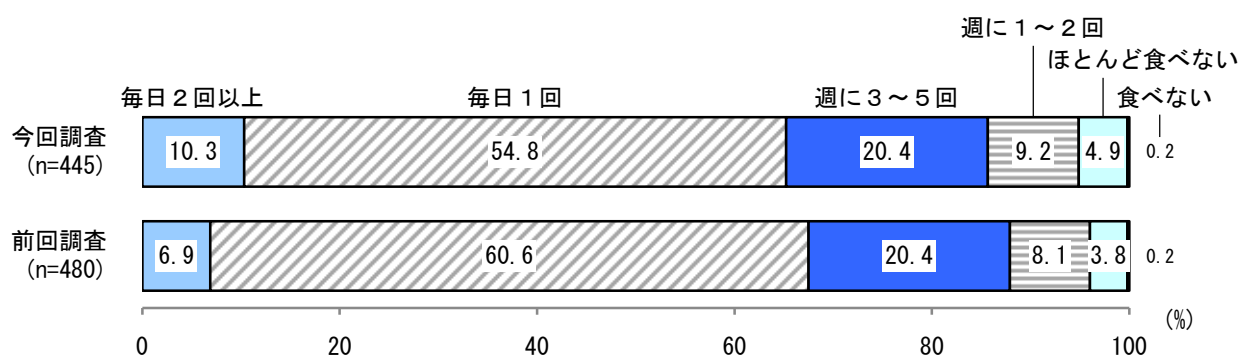
男 性			女 性		
〔1位〕	なす	58人	〔1位〕	ピーマン	55人
〔2位〕	ピーマン	46人	〔2位〕	なす	52人
〔3位〕	トマト	42人	〔3位〕	きのこ類（全般）	48人
〔4位〕	きのこ類（全般）	39人	〔4位〕	トマト	35人
〔5位〕	ゴーヤ	20人	〔5位〕	魚類（全般）	17人
〔6位〕	かぼちゃ	16人	〔6位〕	ゴーヤ	16人
〔7位〕	野菜類（全般）	14人	〔7位〕	ねぎ	15人
〔8位〕	しいたけ	13人	〔8位〕	しいたけ	14人
〔9位〕	きゅうり	11人		人参	
〔10位〕	芋類	9人	〔10位〕	かぼちゃ	13人

（11）菓子類・アイスクリーム類を食べる頻度

IV-17. お子さんは、お菓子やアイスクリームをどのくらいの頻度で食べますか。

お菓子やアイスクリームを食べる頻度については、「毎日1回」が54.8%で最も多く、次いで「週に3～5回」が20.4%、「毎日2回以上」が10.3%となっています。

前回調査と比較すると、「毎日1回」の割合が前回（60.6%）より5.8ポイント低くなっており、「毎日2回以上」の割合が前回（6.9%）と比較して3.4ポイント高くなっています。

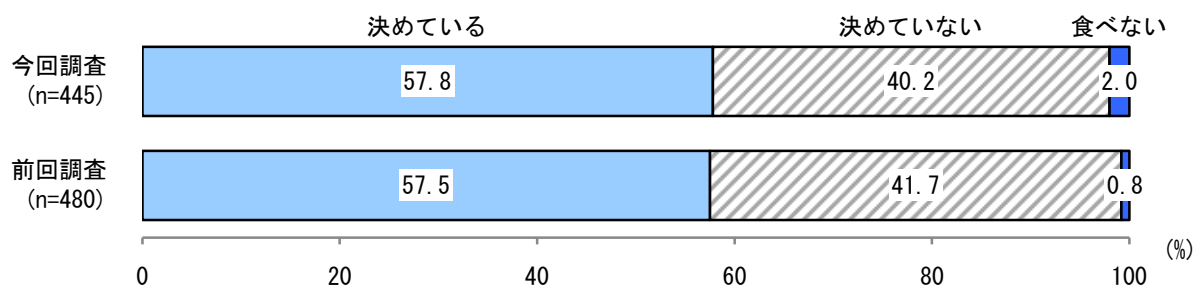


（12）おやつ時間の有無

IV-18. お子さんは、おやつ時間を決めていますか。

おやつ時間を決めているかについては、「決めている」が57.8%で最も多く、次いで「決めていない」が40.2%、「食べない」が2.0%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。

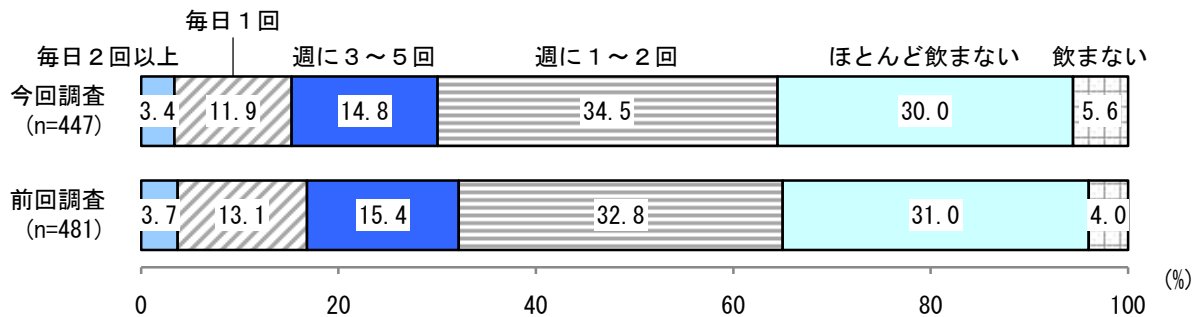


(13) ジュース・清涼飲料水を飲む頻度

IV-19. お子さんは、ジュース・清涼飲料水をどのくらいの頻度で飲みますか。

ジュース・清涼飲料水を飲む頻度については、「週に1～2回」が34.5%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が30.0%、「週に3～5回」が14.8%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。

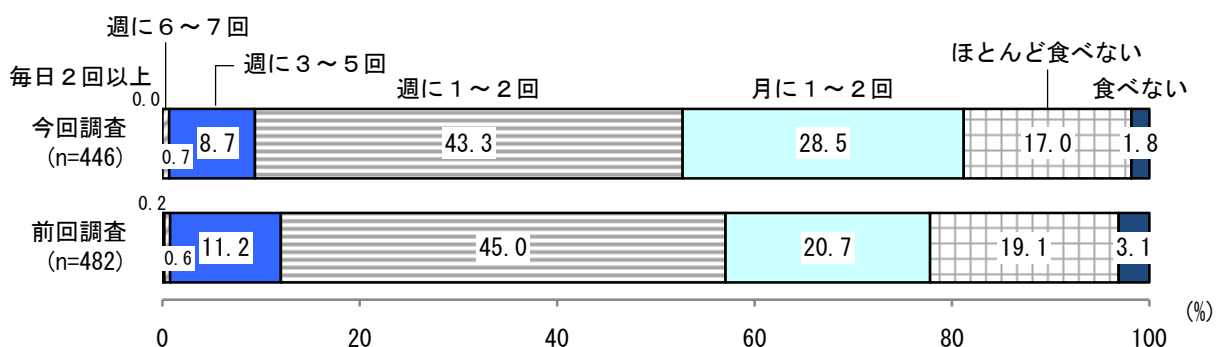


(14) インスタント食品等の利用頻度

IV-20. お子さんは、市販のインスタント・レトルト・冷凍食品をどのくらいの頻度で食べますか。

市販のインスタント・レトルト・冷凍食品の利用頻度については、「週に1～2回」が43.3%で最も多く、次いで「月に1～2回」が28.5%、「ほとんど食べない」が17.0%となっています。

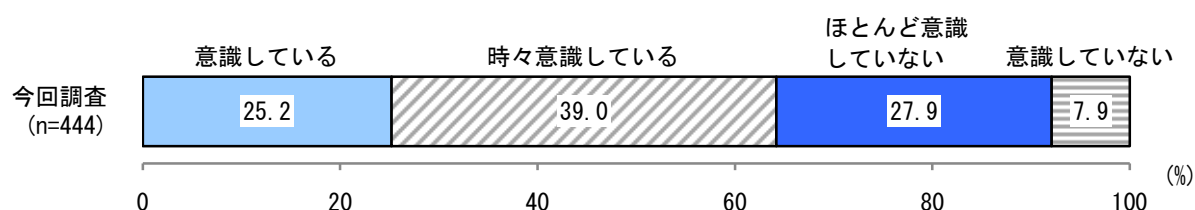
前回調査と比較すると、「ほとんど食べない」「食べない」をあわせた『食べない』（18.8%）の割合が前回（22.2%）より3.4ポイント低くなっています。



（15）子どもの料理の味付けを薄味にする意識

IV-21. お子さんの料理の味付けは、薄味を意識していますか。

子どもの料理の味付けは薄味を意識しているかについては、「時々意識している」が39.0%で最も多く、次いで「ほとんど意識していない」が27.9%、「意識している」が25.2%で、「意識している」「時々意識している」をあわせた『薄味を意識している』割合は64.2%となっています。

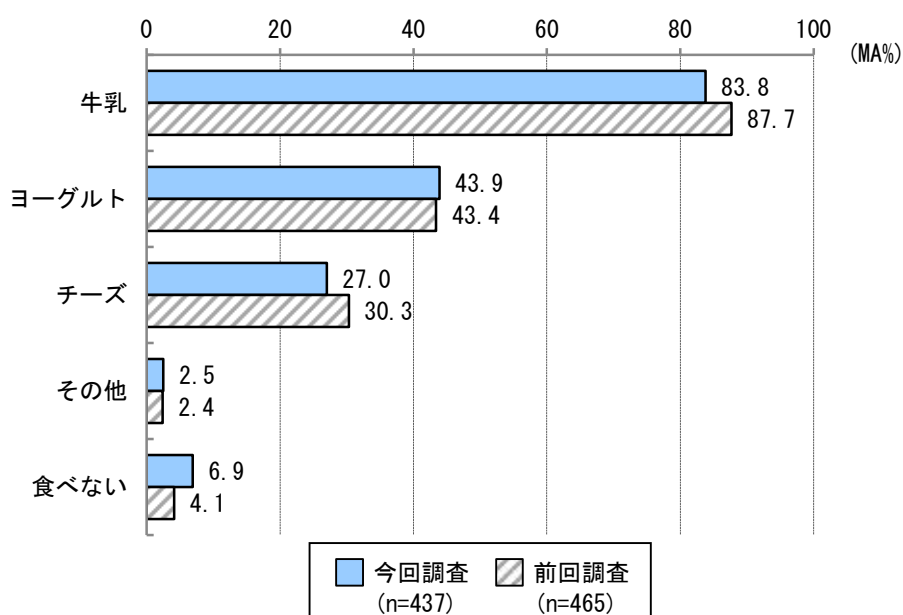


（16）牛乳・乳製品の摂取量

IV-22. お子さんは、牛乳・乳製品を1日あたり平均すると、どのくらいとりますか。 <複数回答>

牛乳・乳製品の摂取量については、「牛乳」が83.8%で最も多く、次いで「ヨーグルト」が43.9%、「チーズ」が27.0%となっています。

前回調査と比較すると、「牛乳」の割合が前回（87.7%）より3.9ポイント、「チーズ」の割合が前回（30.3%）より3.3ポイント、それぞれ低くなっています。



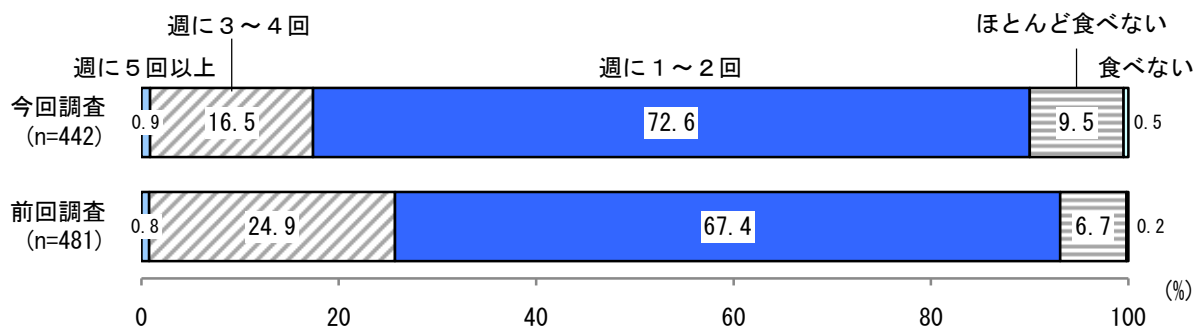
(17) 魚食の状況

① 魚を食べる頻度

IV-23. お子さんが、魚を食べる回数はどのくらいありますか。

魚を食べる頻度については、「週に1～2回」が72.6%で最も多く、次いで「週に3～4回」が16.5%、「ほとんど食べない」が9.5%となっています。

前回調査と比較すると、「週に3～4回」「週に5回以上」をあわせた『週に3回以上』の割合が前回（25.7%）より8.3ポイント低く、「週に1～2回」の割合が前回（67.4%）より5.2ポイント高くなっています。



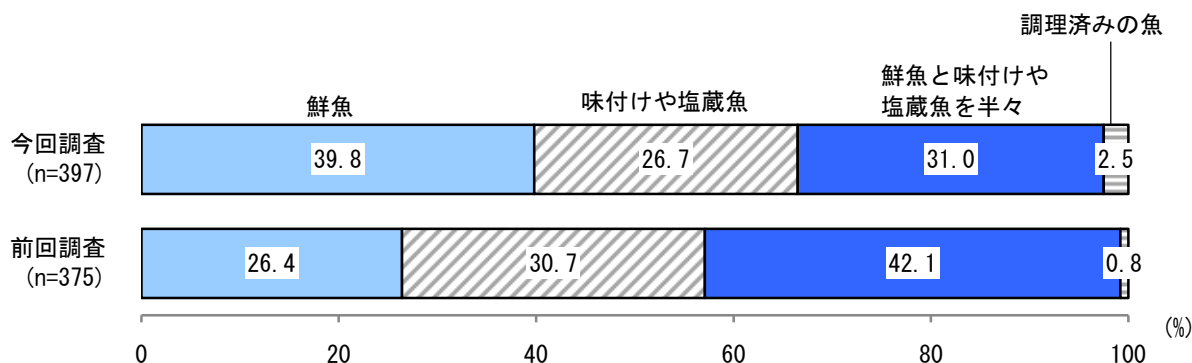
② 魚を購入する際の加工度

【(17)①で「週に5回以上」「週に3～4回」「週に1～2回」のいずれかに回答した人のみ】

IV-24. お子さんのために、どんな魚を最も多く買って調理しますか。

魚を週1回以上食べると回答した人に、どんな魚を最も多く買って調理するかについてたずねると、「鮮魚」が39.8%で最も多く、次いで「鮮魚と味付けや塩蔵魚を半々」が31.0%、「味付けや塩蔵魚」が26.7%、「調理済みの魚」が2.5%となっています。

前回調査と比較すると、「鮮魚」の割合が前回（26.4%）より13.4ポイント高くなっています。

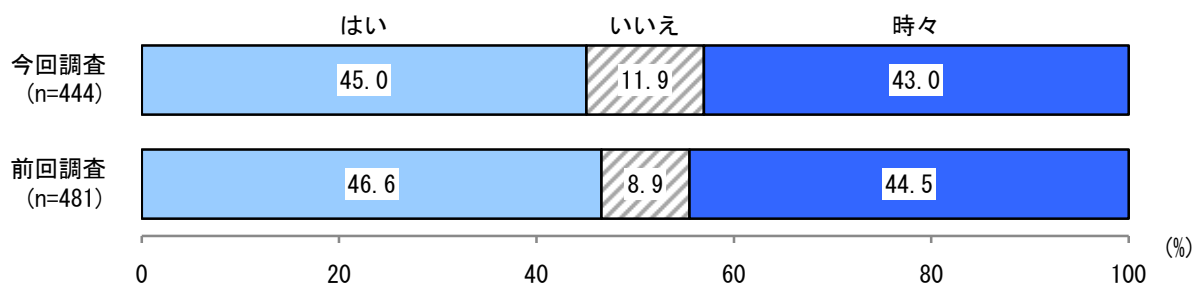


（18）食事の手伝いの有無

IV-25. お子さんは、食事に関してお手伝い（お茶碗並べ・盛りつけ・片付け・切ったりちぎったり混ぜたり等）をしていますか。

食事の手伝いをしているかについては、「はい」（している）が45.0%で最も多く、次いで「時々」が43.0%、「いいえ」（していない）が11.9%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。

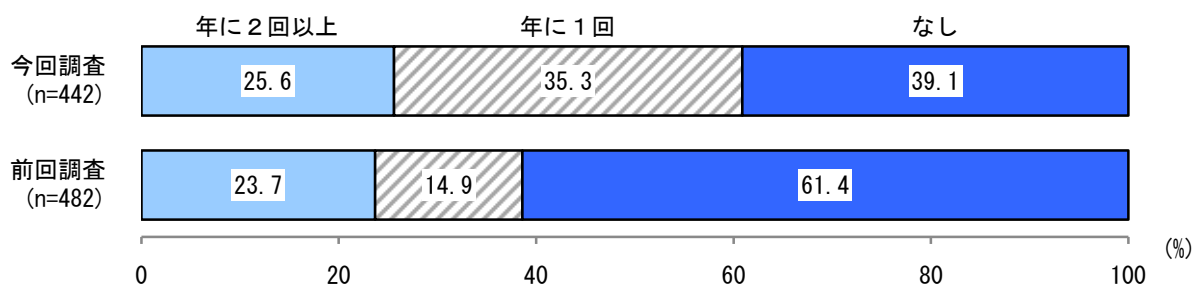


（19）農作業をする機会の有無

IV-26. お子さんは、農作業（田植え・水管理・種まき・収穫その他）をする機会がありますか。

農作業をする機会の有無については、「なし」が39.1%で最も多く、次いで「年に1回」が35.3%、「年に2回以上」が25.6%となっています。

前回調査と比較すると、「年に1回」「年に2回以上」をあわせた『年に1回以上』の割合が前回（38.6%）より22.3ポイント高くなっています。

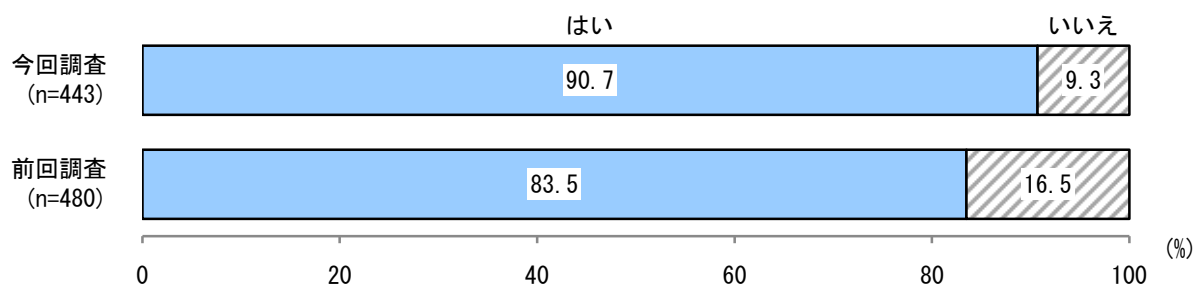


(20) 農業・酪農・漁業等を体験させたい意向の有無

IV-27. お子さんに、米・野菜・酪農・果樹・漁業・きのこ作り等の体験をさせたいと思いますか。

子どもに農業・酪農・漁業等を体験させたいかについては、「はい」(させたい)が90.7%、「いいえ」(させたくない)が9.3%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」(させたい)の割合が前回(83.5%)より7.2ポイント高くなっています。

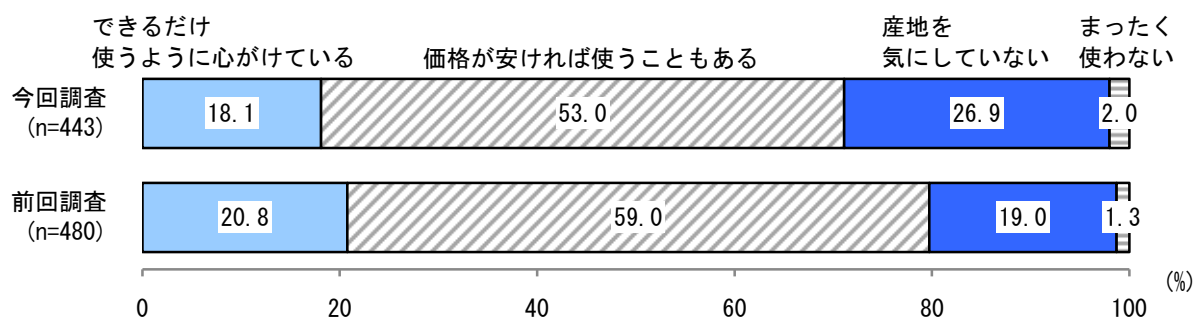


(21) 地元産食材の使用状況

IV-28. お子さんの食事に地元産(京都府内産)の野菜や果物を使うようにしていますか。

地元産食材の使用状況については、「価格が安ければ使うこともある」が53.0%で最も多く、次いで「産地を気にしていない」が26.9%、「できるだけ使うように心がけている」が18.1%となっています。

前回調査と比較すると、「産地を気にしていない」の割合が前回(19.0%)より7.9ポイント高くなっています。

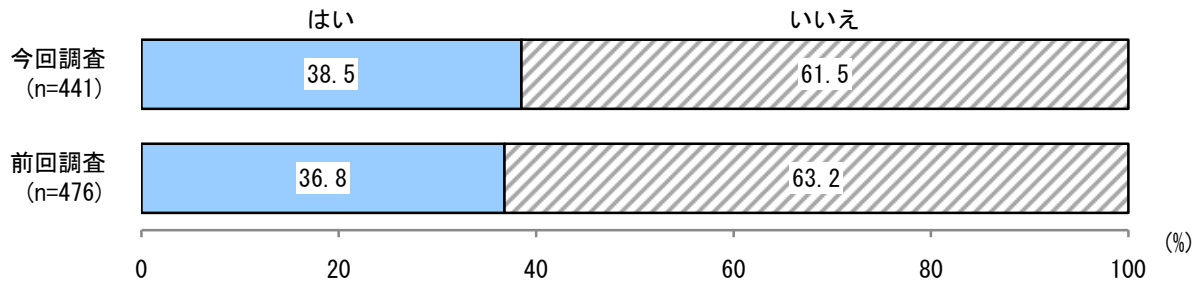


（22）市特産の野菜や果物の認知有無

IV-29. お子さんは木津川市特産の野菜や果物を知っていますか。

子どもは木津川市特産の野菜や果物を知っているかについては、「はい」（知っている）が38.5%、「いいえ」（知らない）が61.5%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。

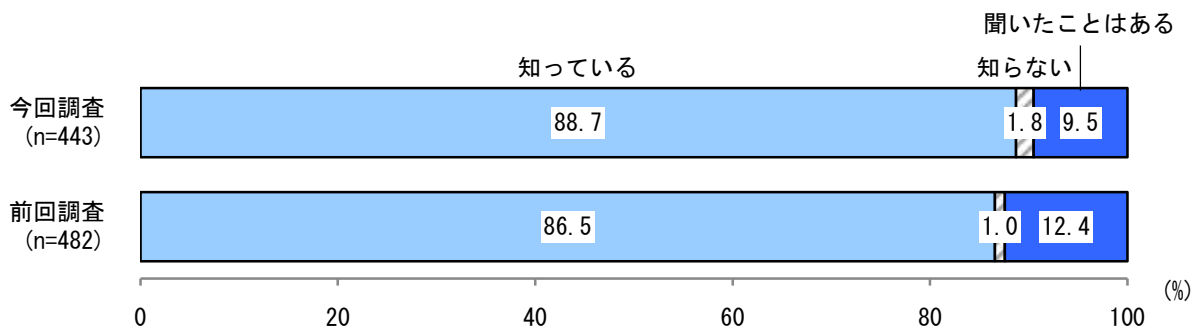


（23）食育の認知度

IV-30. 保護者の方は、「食育」という言葉を知っていますか。

保護者の「食育」という言葉の認知度については、「知っている」が88.7%で最も多く、次いで「聞いたことはある」が9.5%、「知らない」が1.8%となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」の割合が前回（86.5%）より2.2ポイント高くなっています。



5 歯の健康に関することについて

(1) むし歯の状況

① むし歯の有無

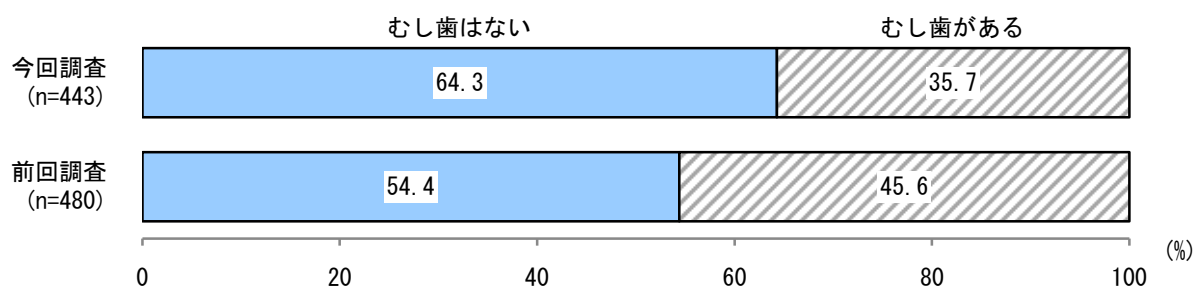
V-1. お子さんのむし歯についてお聞きます。

むし歯の有無については、「むし歯はない」が64.3%、「むし歯がある」が35.7%となっています。

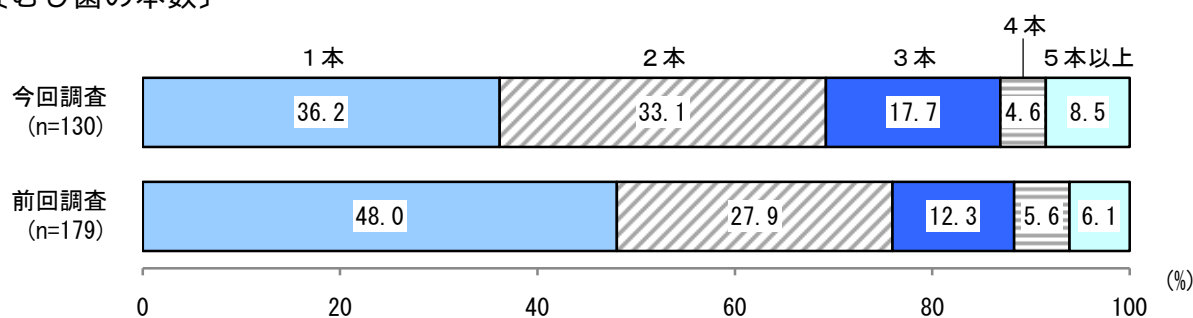
前回調査と比較すると、「むし歯はない」の割合が前回（54.4%）より9.9ポイント高くなっています。

「むし歯がある」と回答した人に、むし歯の本数をたずねると、「1本」が36.2%で最も多く、次いで「2本」が33.1%、「3本」が17.7%となっています。

前回調査と比較すると、「1本」の割合が前回（48.0%）より11.8ポイント低く、「3本」の割合が前回（12.3%）より5.4ポイント、「2本」の割合が前回（27.9%）より5.2ポイント、それぞれ高くなっています。



〔むし歯の本数〕



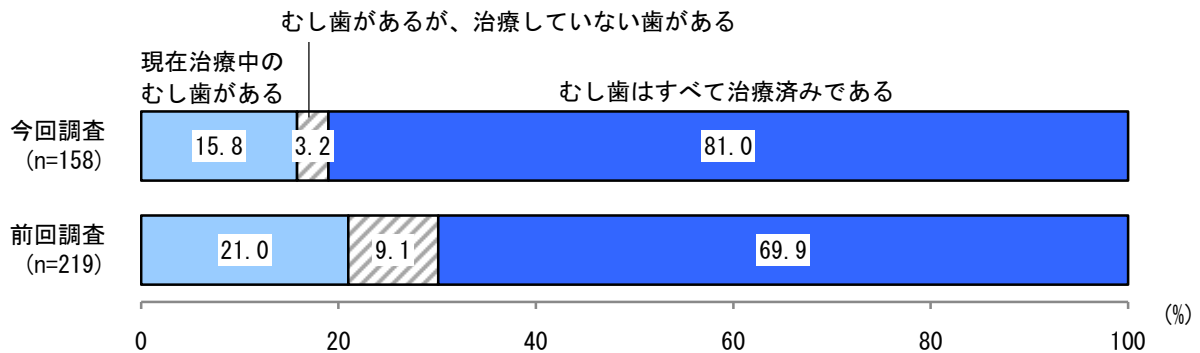
② むし歯の治療状況

【(1)①で「むし歯がある」と回答した人のみ】

V-2. そのむし歯を治療していますか。

「むし歯がある」と回答した人に、むし歯の治療状況をたずねると、「むし歯はすべて治療済みである」が81.0%で最も多く、次いで「現在治療中のむし歯がある」が15.8%、「むし歯があるが、治療していない歯がある」が3.2%となっています。

前回調査と比較すると、「むし歯はすべて治療済みである」の割合が前回（69.9%）より11.1ポイント高くなっています。

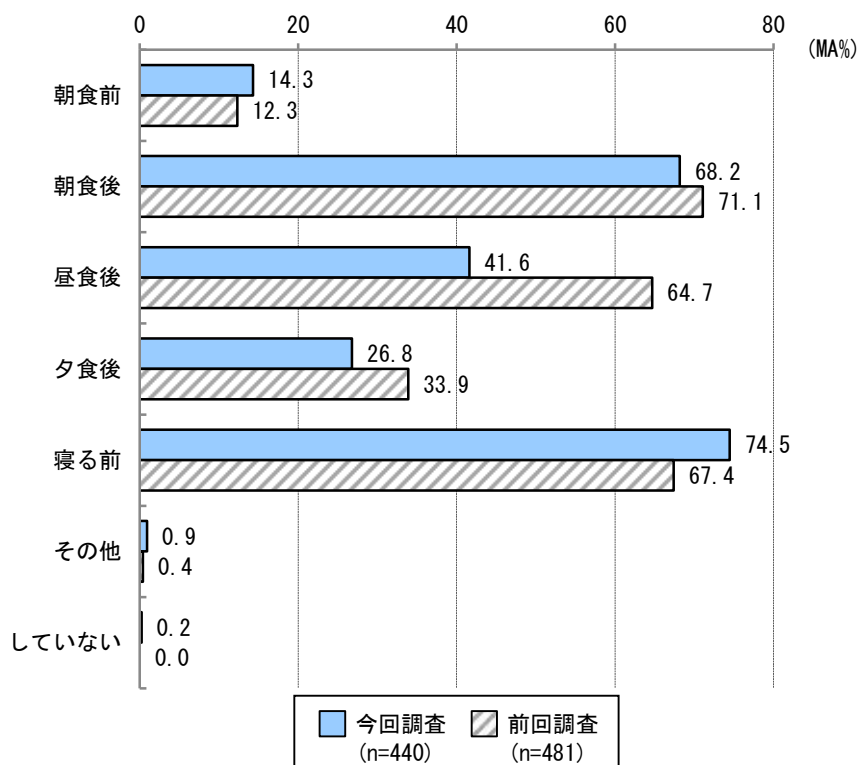


(2) 歯みがきのタイミング

V-3. お子さんは、歯みがきをいつしていますか。＜複数回答＞

歯みがきをするタイミングについては、「寝る前」が74.5%で最も多く、次いで「朝食後」が68.2%、「昼食後」が41.6%となっています。

前回調査と比較すると、「昼食後」の割合が前回（64.7%）より23.1ポイント、「夕食後」の割合が前回（33.9%）より7.1ポイント、それぞれ低くなっています。



(3) 仕上げ歯みがきの状況

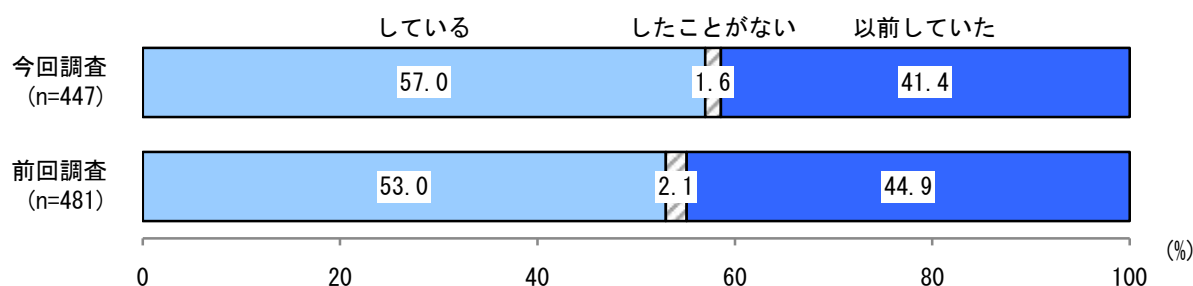
V-4. お子さんの歯は、大人が仕上げみがきをしていますか。

大人が仕上げみがきをしているかについては、「している」が57.0%で最も多く、次いで「以前していた」が41.4%、「したことがない」が1.6%となっています。

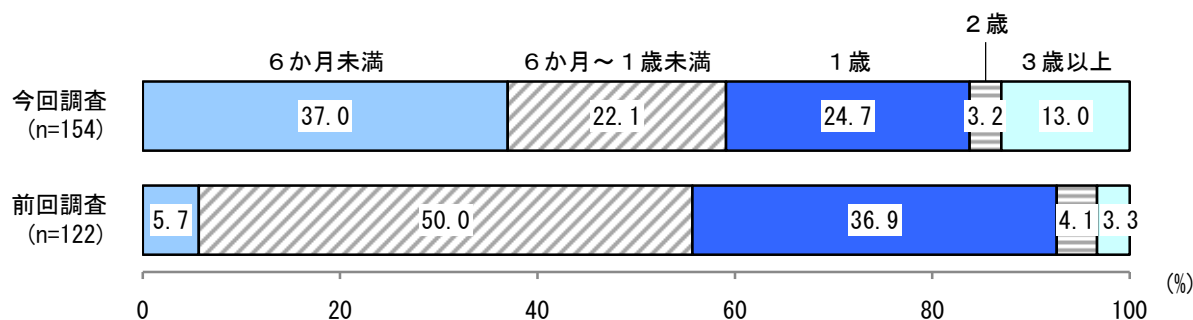
前回調査と比較すると、「している」の割合が前回（53.0%）より4.0ポイント高くなっています。

仕上げみがきを「以前していた」と回答した人に、していた時期をたずねると、始めた年齢は「6か月未満」が37.0%で最も多く、次いで「1歳」が24.7%、「6か月～1歳未満」が22.1%となっています。また、終えた年齢は「6歳」が37.4%で最も多く、次いで「7歳」が29.7%となっています。

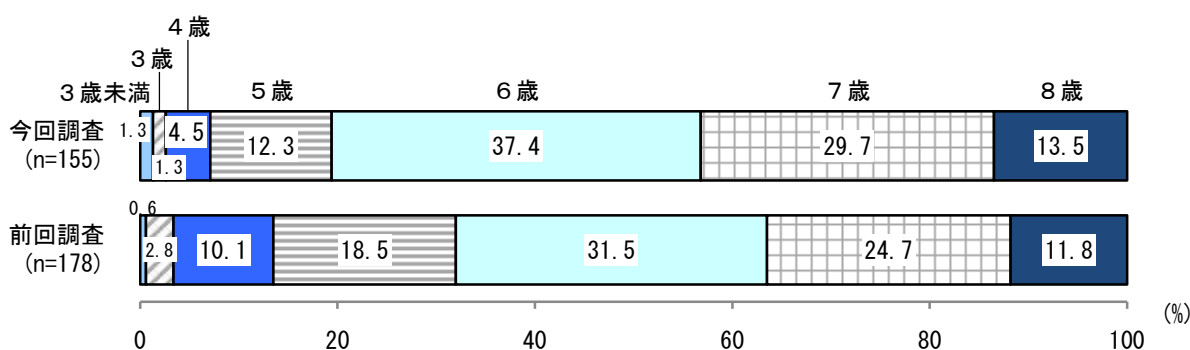
前回調査と比較すると、始めた年齢では「6か月未満」の割合が前回（5.7%）より31.3ポイント高くなっています。また、終えた年齢では「6歳」の割合が前回（31.5%）より5.9ポイント高くなっています。



〔仕上げみがきをしていた時期『始めた年齢』〕



〔仕上げみがきをしていた時期『終えた年齢』〕

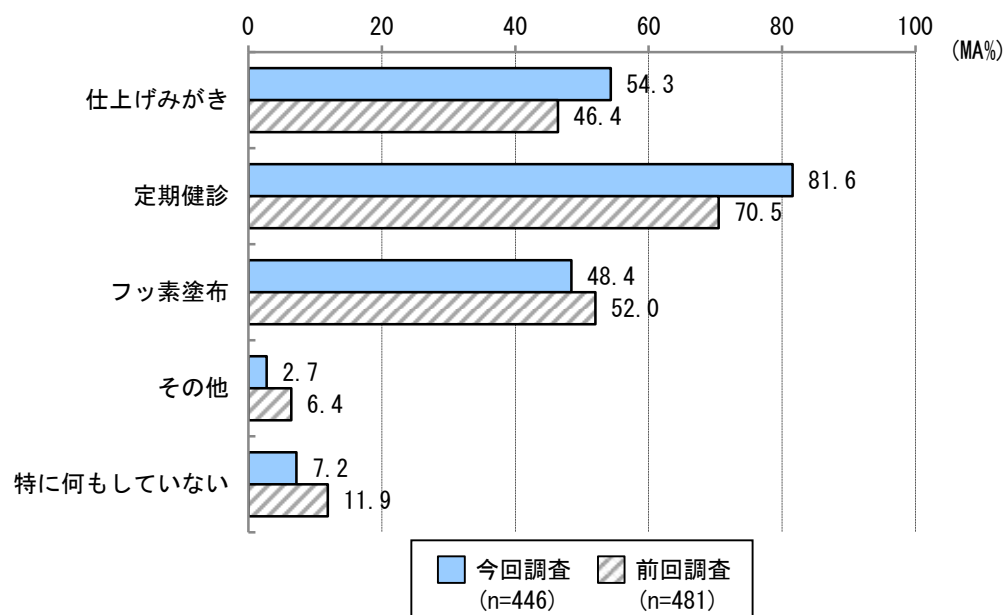


（４）むし歯予防のためにやっていること

V-5. むし歯予防のために何か行っていることはありますか。＜複数回答＞

むし歯予防のために行っていることについては、「定期健診」が81.6%で最も多く、次いで「仕上げみがき」が54.3%、「フッ素塗布」が48.4%となっています。

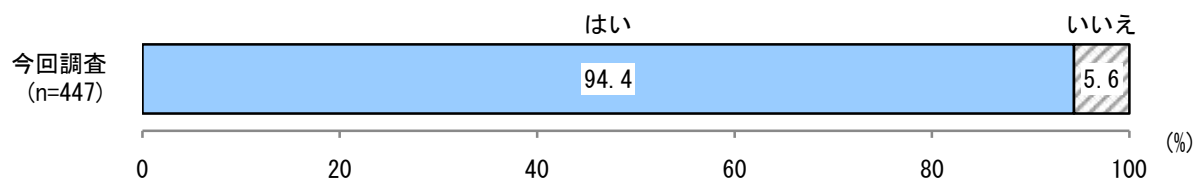
前回調査と比較すると、「定期健診」の割合が前回（70.5%）より11.1ポイント、「仕上げみがき」の割合が前回（46.4%）より7.9ポイント、それぞれ高くなっています。



（５）かかりつけ歯科医院の有無

V-6. お子さんは、かかりつけの歯科医院がありますか。

かかりつけの歯科医院の有無については、「はい」（ある）が94.4%、「いいえ」（ない）が5.6%となっています。



6 喫煙に関することについて

(1) 家庭内での喫煙状況

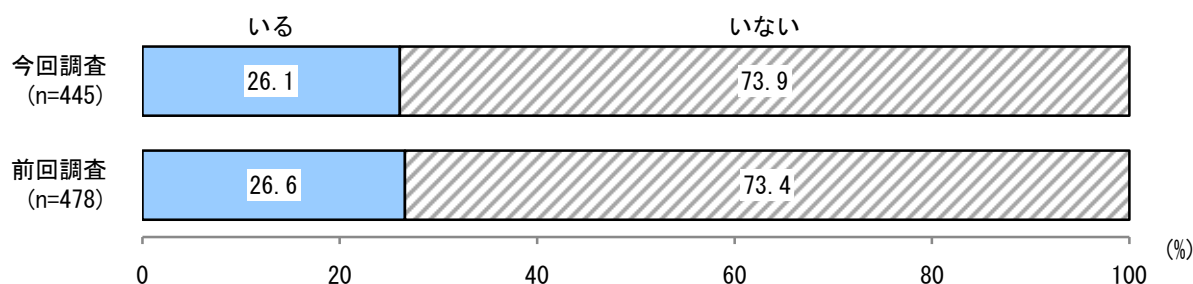
① 家庭内喫煙者の有無

VI-1. ご家族であなたを含めてタバコを吸っている方はいますか。

ここで言う「タバコ」とは、電子タバコ、加熱式タバコ等を含みます。

家族内に喫煙者がいるかについては、「いる」が26.1%、「いない」が73.9%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。



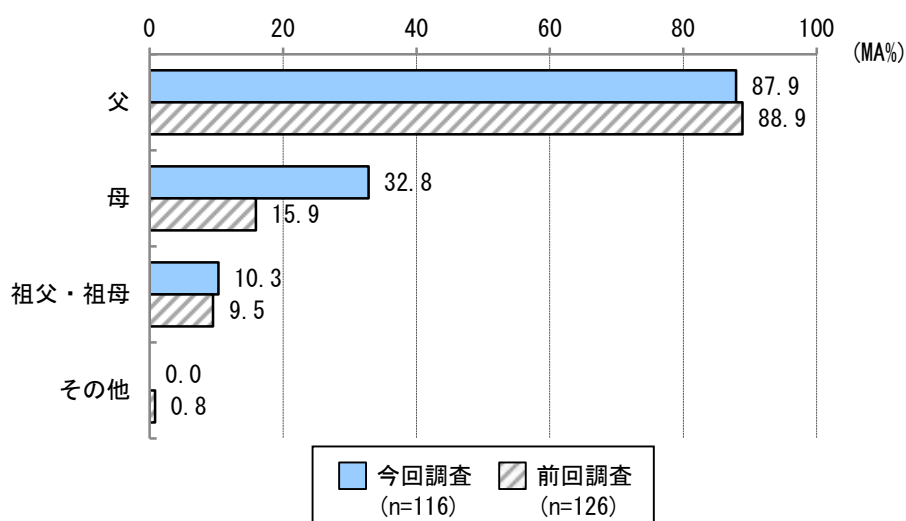
② 喫煙者の続柄

【(1)①で「いる」と回答した人のみ】

VI-2. ①タバコを吸っている方は、お子さんからみてどなたですか。＜複数回答＞

家族内に喫煙者がいると回答した人に、その喫煙者の続柄をたずねると、「父」が87.9%で最も多く、次いで「母」が32.8%、「祖父・祖母」が10.3%となっています。

前回調査と比較すると、「母」の割合が前回（15.9%）より16.9ポイント高くなっています。



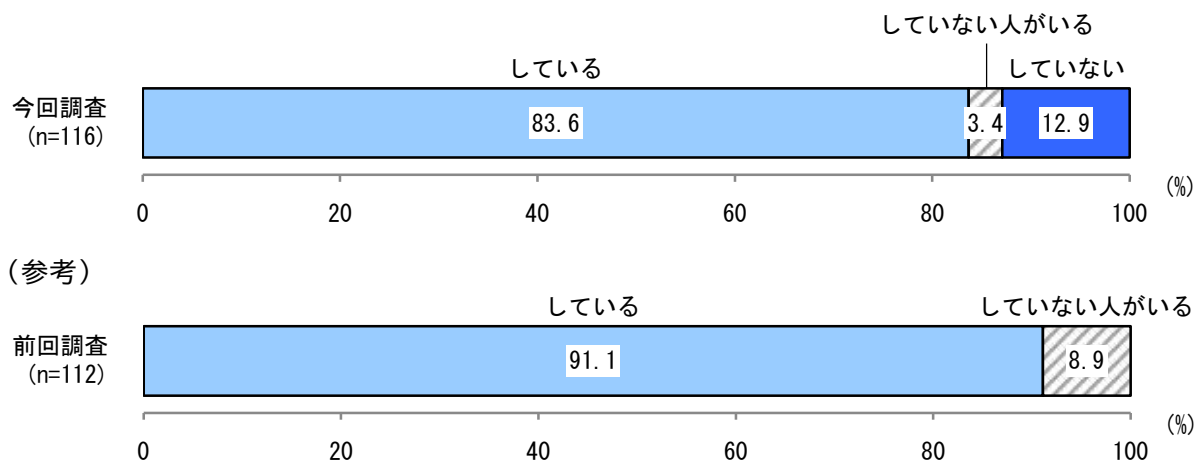
③ 受動喫煙対策の有無

【(1)①で「いる」と回答した人のみ】

②タバコを吸っている方は、家の中でタバコを吸う場所と時間の工夫（分煙）をしていますか。

家族内に喫煙者がいると回答した人に、家の中でタバコを吸う場所と時間の工夫をしているかについてたずねると、「している」が83.6%で最も多く、次いで「していない」が12.9%、「していない人がいる」が3.4%となっています。

前回調査と比較すると、「している」の割合が前回（91.1%）より7.5ポイント低くなっています。



※今回調査の「していない」は新規項目です。

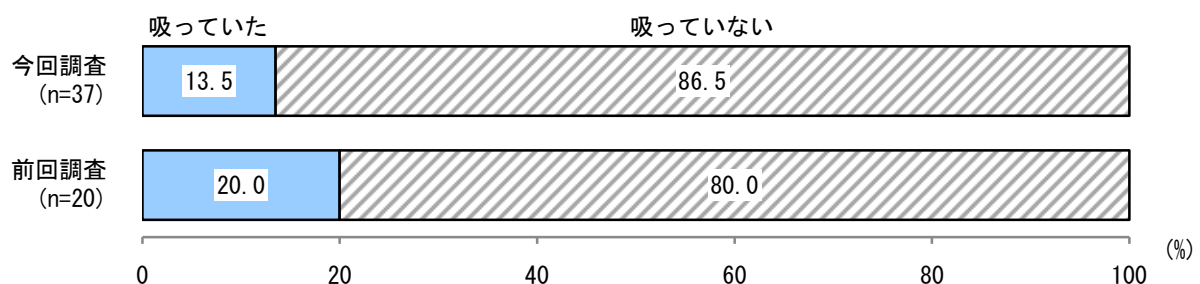
④ 妊娠中の喫煙の有無

【(1)②で「母」と回答した人のみ】

VI-3. お子さんを妊娠中にタバコを吸っておられましたか。

母が喫煙していると回答した人に、妊娠中に喫煙していたかをたずねると、「吸っていた」が13.5%、「吸っていない」が86.5%となっています。

前回調査と比較すると、「吸っていた」の割合が前回（20.0%）より6.5ポイント低くなっています。



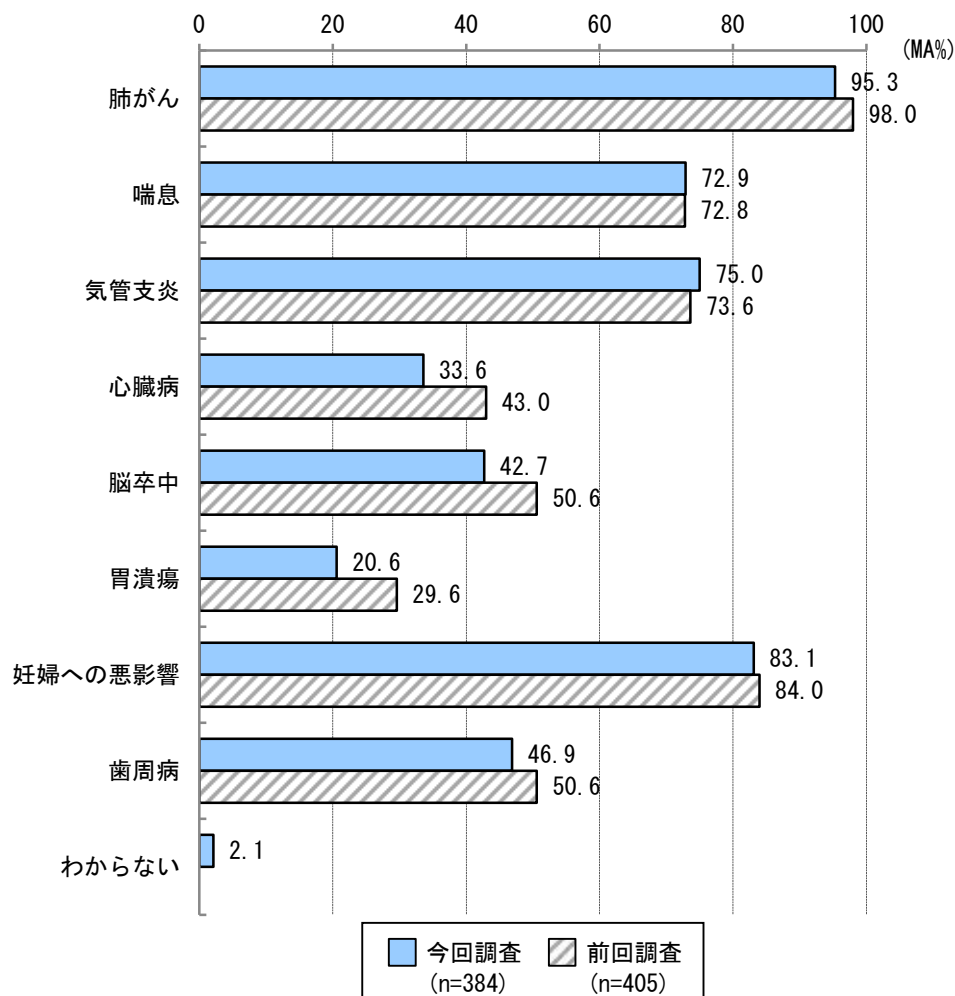
(2) 喫煙による健康影響があると思うもの

VI-4. タバコを吸うことで自分や周囲に影響のあるものは何だと思いますか。

<複数回答>

喫煙による健康影響があると思うものについては、「肺がん」が95.3%で最も多く、次いで「妊婦への悪影響」が83.1%、「気管支炎」が75.0%、「喘息」が72.9%となっています。

前回調査と比較すると、「心臓病」の割合が前回（43.0%）より9.4ポイント、「胃潰瘍」の割合が前回（29.6%）より9.0ポイント、「脳卒中」の割合が前回（50.6%）より7.9ポイント低くなっています。



※今回調査の「わからない」は新規項目です。

7 育児に関することについて

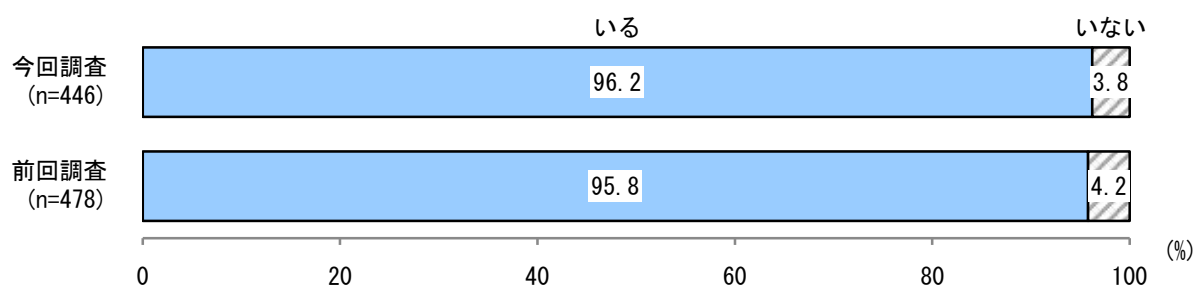
（1）育児協力者の状況

① 育児協力者の有無

VII-1. 育児を一緒にしてくれる人はいますか。

育児を一緒にしてくれる人の有無については、「いる」が96.2%、「いない」が3.8%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。



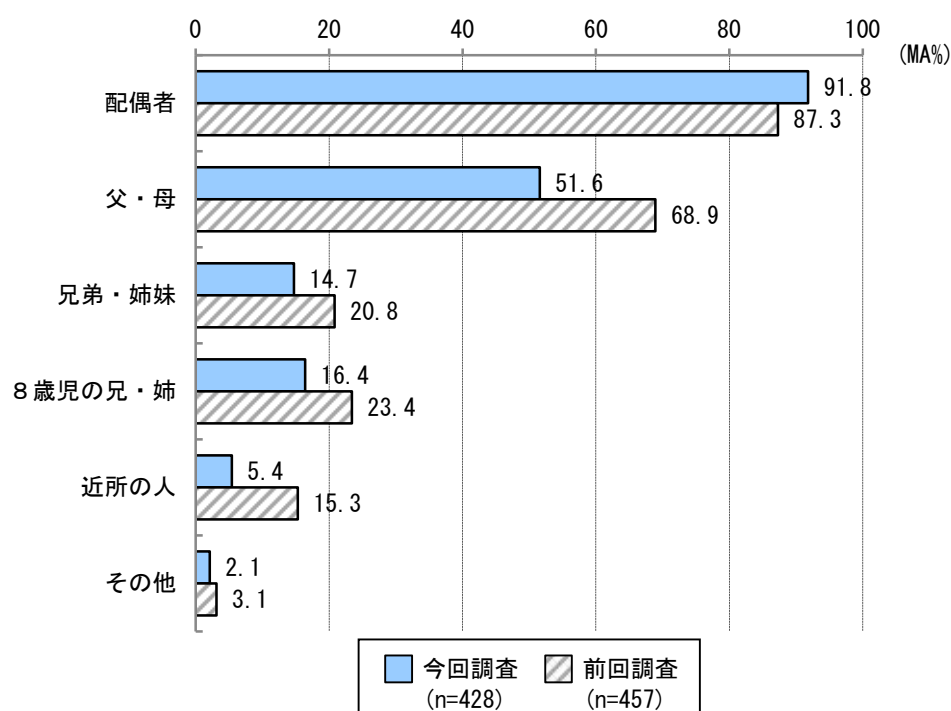
② 育児協力者の続柄等

【(1)①で「いる」と回答した人のみ】

VII-2. それはあなたからみてどなたですか。＜複数回答＞

育児を一緒にしてくれる人がいると回答した人に、一緒に育児をしてくれる人の続柄をたずねると、「配偶者」が91.8%で最も多く、次いで「父・母」が51.6%、「8歳児の兄・姉」が16.4%となっています。

前回調査と比較すると、「父・母」の割合が前回（68.9%）より17.3ポイント、「近所の人」の割合が前回（15.3%）より9.9ポイント、それぞれ低くなっています。



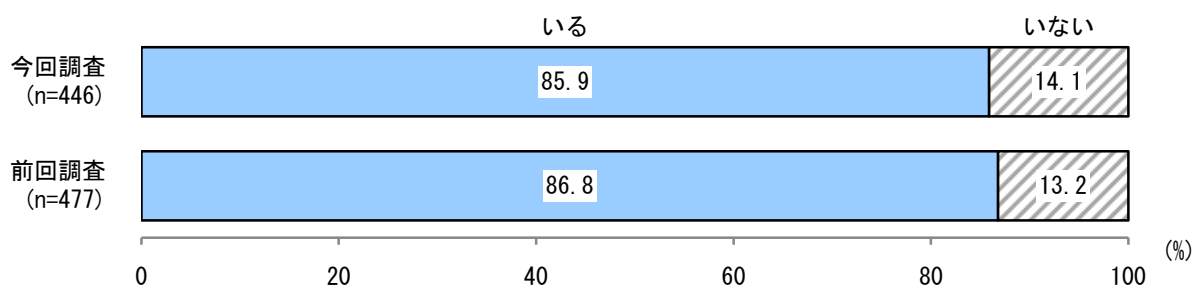
(2) 育児支援者や相談者の状況

① 育児支援者や相談者の有無

VII-3. 育児負担を軽減するために、周囲に相談できる人やサポートをしてくれる人はいいますか。

周囲に相談できる人やサポートしてくれる人の有無については、「いる」が85.9%、「いない」が14.1%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。



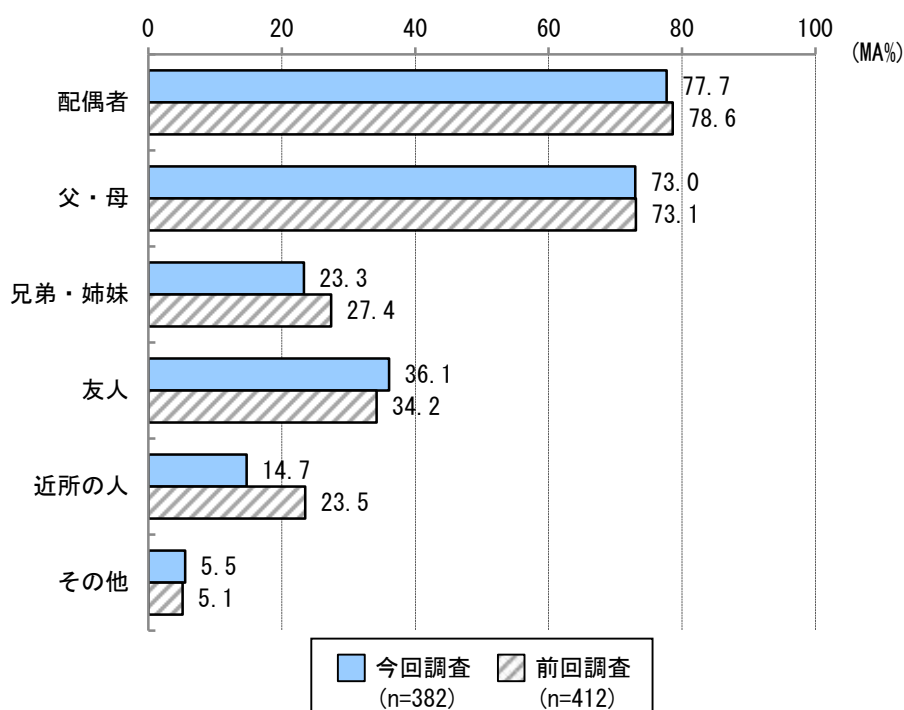
② 育児支援者や相談者の続柄等

【(2)①で「いる」と回答した人のみ】

VII-4. それはあなたからみてどなたですか。＜複数回答＞

周囲に相談できる人やサポートしてくれる人がいると回答した人に、その人の続柄をたずねると、「配偶者」が77.7%で最も多く、次いで「父・母」が73.0%、「友人」が36.1%となっています。

前回調査と比較すると、「近所の人」の割合が前回（23.5%）より8.8ポイント、「兄弟・姉妹」の割合が前回（27.4%）より4.1ポイント、それぞれ低くなっています。

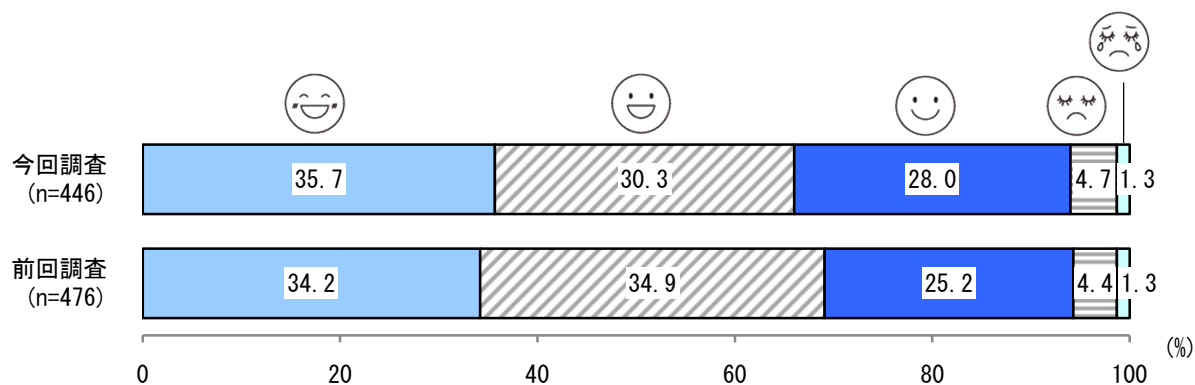


（3）育児に対する気持ち

VII-5. 育児に対する今の気持ちに近いものはどれですか。

育児に対する今の気持ちについては、「😊」が35.7%で最も多く、次いで「😊」が30.3%、「😄」が28.0%となっています。

前回調査と比較すると、「😄」の割合が前回（25.2%）より2.8ポイント高くなっており、「😊」の割合が前回（34.9%）より4.6ポイント低くなっています。



8 健康づくりの取組に対する意見

VII-6. お子さんが健やかに成長するために行政や市民が行う健康づくりの取組みについて、ご意見やアイデアなどがありましたらご記入ください。

健康づくりの取組に対する意見やアイデアについての自由記述は、111人から挙げられました。

そのうち、主な意見を抜粋・要約しています。

主な意見
小学校のトイレが汚く、不衛生であるという話を娘たちから聞きます(人数の割に数も少なく並んでいるとのこと)。トイレをがまんしている子が少なくないようです。
公園の遊具をもっと増やしてほしい。大人も使用できる健康器具なども公園にあればいいのと思います。
子どもと一緒に楽しくみれる健康に関する動画配信があると嬉しいです。
歯の矯正に対する補助があると嬉しいです。歯並びは口の健康に大きく関わると言われているのに対処しようとすると高額です。少額でも子どもの矯正に補助があれば、矯正をはじめのハードルが低くなると思います。
学校の給食時間が短すぎて食べられないことが多い。もう少し食事時間を延ばせるようにしてほしい。
子ども達が制限なく自由に遊べる場所を増やしてほしい。今は公園でもボール遊びが禁止なので…校庭は広さに限りがあるので思いきり動けない。
定期的に行っていただいている「PLAYFUL PARK (プレイフル パーク)」はいつもありがたく利用させていただいています。ぜひ継続をおねがいしたいです。小学生と親が参加できる健康づくりのイベントもぜひおねがいします。アンケートにあった農業体験の催しが市主催であればぜひ参加したいです。
幼児、小、中学生への給食提供について保護者負担が上昇しても良いので、これまで同様の質、量を維持してもらえるとありがたいです。
家の近くに公園がないので、お友だちと自由に集まって安心して遊べる場が家以外にほしい。最近、暑さ、寒さ、熊が出る等で公園も難しいので、室内遊び場があればいいのにな、と思う。
お料理教室など子どもも参加型でもっとイベントをしてほしい。
インフルエンザ予防接種の子どもへの補助があれば嬉しい。子どもは2回接種必要なのでお年寄りより負担が大きい。
・速く走るコツ教室など、プロが講師で教える単回のイベント ・最近、夏暑過ぎて外遊びができないので、公立体育館等やホールなど暑くない場所の子どもへの無料開放
水泳、カヤックなどでできればいいなと思います。
ボール遊びができる場所を設けてほしい。

9 自由意見

お気づきの点がありましたらこの欄にご記入ください。

意見、要望についての自由記述は、19人から挙げられました。
そのうち、主な意見を抜粋・要約しています。

主な意見
木津川市で行っているスポーツチームなどの応援をもっと行政が行うべきである。夢をもてる環境づくり。心から健やかになれるように子育て支援をもっと行うべきである。
毎日車で（高齢者の）送迎などの仕事をしているのですが道が狭い所が多く、所々交通の整備をしていただくと、子どもの安全にもつながると思います。
この調査の結果が次の「良いこと」につながることを期待します。よろしくお願いします。
昔と違って、家の前でボール遊びが気軽にできなくなりました。公園でもボールは禁止と学校のルールであります。子ども達がのびのびと外遊びできる環境が少なすぎます。
城山台は小学校の遊具も少なく、公園の遊具も少ないのではないかと思います。
体育館にエアコンが無く、夏場は体育の時間が非常に短い。暑すぎるため、外遊びも困難である。体育の時間を増やすためにも小学校にもエアコンの設置をしてほしい。
有料で良いので長期休暇中に学童で給食やお弁当を出してほしい。
発達障がいの子を育てています。普段は、子のできないことを受容して子育てをしています。設問に対して、あらためて定型発達の子と自分の子の状態がかけ離れている部分があるので、選択肢を選ぶことを、どれを選べば良いのか、難しく感じるがありました。
学校支給のタブレットは自宅常備にしてほしい。 自宅学習でやる気になっているときにタブレットがなく、長続きしない。 学校使用アプリを自宅用タブレットでも共有して、タブレットの持ち運びをなしにしたい。健康アプリとして縄飛びの回数を記録するなど外遊びへの促しを。
体を動かせるようなイベントや体験型イベントを増やしてほしいです。提示方法について、学校を通してのお知らせなど、より目につきやすい形で提示していただけると助かります。

